

令和5年度
主要な施策の成果報告書

古賀市

地方自治法第233条第5項の規定により、令和5年度一般会計及び特別会計の決算に係る主要な施策の成果を説明する資料を提出する。

令和6年8月28日

古賀市長 田辺 一城

施政方針の総括

I チルドレン・ファーストのさらなる強化

古賀市はチルドレン・ファーストを徹底し、子どもと子育ての支援に取り組みました。全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができるよう妊娠期から出産・子育てまで一貫して相談に応じ、必要な支援につなげるとともに、妊娠と出生のタイミングで計10万円を給付しました。乳児家庭全戸訪問の際には、出生した子どもに、「うまれてきてくれてありがとう BOX～こがたからばこ～」を配付し、地域全体で一人ひとりの子どもと子育て家庭を支える思いを伝えました。

出産後、体調や育児に不安のある母親が安心して子育てができるよう、市が委託する医療機関で宿泊や日帰りにより、母親のからだところのケアや育児サポートなどを行う産後ケア事業を実施しました。

市民税非課税世帯などの低所得の妊婦の方に対し、経済的な負担を減らし、必要な支援につなげるため、妊娠判定を受けるための初回産科受診料を補助しました。また、子どもを産み育てたいという人が安心して妊娠・出産できるよう、不妊治療に要する費用の一部を助成しました。新型コロナウイルス感染症などの予防策として、妊産婦や多胎児の保護者が安心して移動できるよう、タクシーチケットを配付しました。新型コロナウイルス感染症の影響、燃料費の高騰などにより厳しい経営状況にあるタクシー事業者の支援にもつながり、市民の通勤、通学、買い物、通院など、日常生活の移動手段として必要不可欠な地域公共交通の維持・確保の一助となりました。

子育てを社会全体で担い、子育て世帯の経済状況に関係なく、子どもたちが安心して必要な医療が受けられるよう、令和5年10月からは、就学前までの子どもを対象に子ども医療費の無償化を拡大しました。また、令

和6年4月からは、高校生世代である18歳まで無償化を拡大することとし、実施に向け準備を行いました。

乳幼児健康診査においては、3歳児健康診査に屈折検査機器を導入し、視覚検査体制の強化を図りました。宗像市、福津市、新宮町との病児保育の広域連携を開始し、利便性向上を図りました。

待機児童ゼロをめざし、市内の保育所などが実施した合同就職・相談説明会や保育士の宿舍借り上げの助成など、保育士確保を図る取組を支援しました。

医療的ケアが必要な児童を鹿部保育所で受け入れる体制を維持するとともに、私立保育所などにおいても受入体制を維持するため、看護師を配置する費用の助成を継続し、医療的ケア児の入所を支援しました。

児童虐待を未然に防ぐために、未就園児のいる家庭を訪問したり、乳幼児健康診査時に面談したりすることで、問題が生じた際に相談しやすい関係づくりに取り組みました。また、多子世帯や発達に支援が必要な児童がいるなど、子育てに支援が必要な家庭に家事援助や育児支援を行う「子育て世帯訪問支援事業」を実施しました。子育ての負担が軽減しただけでなく、サービスを提供する中で見えてきた家庭が抱える様々な問題に対して、必要なサービスや継続的な相談につなげることができました。

DV対策として、母子生活支援施設入所者の退所後の生活を支援するため、住居確保の際などに身元保証人が見つからない場合の保証会社への保険料を補助する事業を創設しました。令和5年度においては退所者がいなかったため、利用はありませんでした。市やこが女性ホットラインへのDVに関する相談に応じて、関係機関へつなぐなどの対応を行いまし

た。

小中学校の全ての学年における原則 35 人以下学級をはじめとした多様な人的配置など教育環境の整備を推進しました。増加傾向にある不登校や課題を抱える児童生徒及び保護者の支援のため、スクールソーシャルワーカーの配置時間を増やし、教育相談体制の充実を図るとともに、米多比児童館と教育支援センター「あすなろ教室」の機能を古賀グリーンパーク内に移転し、複合施設として開館時間の延長、広くなった施設や周辺環境を活用した体験活動の充実などにより不登校児童生徒支援の機能を強化しました。

全ての小中学校の水泳授業を民間に委託し、季節や天候に左右されることなく、インストラクターから専門的な指導を計画的に受けられることにより、児童生徒の泳力向上につながりました。また、水温・水質管理、危険箇所の点検、掃除などプールの維持管理に係る教員の負担も軽減されました。

古賀市部活動地域移行等検討委員会を開催し、古賀市立中学校の部活動における、持続可能な運営主体の在り方、学校と地域が連携した新たな部活動の在り方、指導者確保などについて調査協議し、生徒の多様な体験の機会を確保するとともに、持続可能な運営体制の確立について検討しました。また、教職員及び生徒にアンケート調査を実施し、部活動に関する実態について調査しました。

学校施設のさらなる安全・快適性の向上のために、建物の長寿命化と複合化の改修工事を計画的に進めました。古賀東中学校校舎の大規模改造工事の第 1 期工事を行いました。衛生環境向上・バリアフリー化のため、トイレの洋式化や「みんなのトイレ」の整備について、古賀東、古賀西、花

鶴各小学校は改修工事を、小野小学校は改修に向けた設計を行いました。さらに、小中学校の理科室、家庭科室、技術室への空調整備工事を行い、教室部分の空調整備率が 100%となりました。小中学校 8 校の体育館照明の LED 化を行い、省電力化を進めました。

令和 6 年 4 月から給食費の公会計化運用開始をめざしていましたが、国の「子ども未来戦略(案)」において給食費無償化に向けた調査などの実施が示されたため、公会計化の延期を決定しました。給食センター設備更新においては、26 年間使用している食器等洗浄機の更新工事を行えるよう、令和 5 年度に入札及び契約を完了し、令和 6 年度から 8 年度にかけ工事を実施する予定としています。

通学合宿など子どもの「生き抜く力」を伸ばす取組を後押ししました。併せて、放課後子供教室の各小学校区での実施や学童保育所との連携推進、各児童センターの特徴を活かした活動などにより、子どもの行き場所・居場所づくりを充実させました。

令和 5 年度から学校図書館司書との連携のもと、古賀市立図書館の蔵書から、調べ学習や読みものなど授業に役立つ資料を集めてリスト化、「学習支援セット」として学校に貸し出し、授業の中でより学びを深めるよう支援しました。

経済的に厳しい世帯やさまざまな事情を抱える世帯の中学生を中心に据え、将来へ希望を抱き自立した社会生活が営めることを目的とし、家庭学習支援や社会体験学習支援を行うとともに、居場所の提供を行いました。また、NPO 法人フードバンク福岡などから提供された食料品を活用し、学習環境の充実に努めました。

物価高騰に直面する子育て世帯への独自の経済的支援として、令和 4 年

度に引き続き、就学援助の支給基準を世帯収入が生活保護基準額の1.3倍以内から1.5倍以内へ引き下げるとともに、新たに市外の国公立小中学校へ通学する児童生徒についても対象とすることで、多くの子ども達の就学を支援することができました。物価高騰に伴う給食費の値上げ抑制のため、保育所などへ給食費の補助を行いました。また、学校給食費を補助することで、保護者の負担となる給食費の値上げを行うことなく、これまでどおりの栄養バランスや量を保った給食を提供できました。

子ども・子育て会議を開催し、子ども・子育て支援事業計画の進捗管理を行いました。こども基本法に基づき、国のこども大綱及び県のこども計画を勘案して定めるよう努めるものとされている市こども計画の策定作業に着手し、ニーズ調査のためのアンケート作成などを実施しました。

II 中心市街地の「力」を引き出し、魅力を創造する

まちづくりの「1丁目1番地」に位置付けるJR古賀駅周辺の中心市街地活性化は具体策をさらに推進しました。駅周辺の魅力的な空間形成、新たな道路整備によるアクセス強化、生涯学習ゾーンとの一体的な整備、脱炭素化をめざした持続可能な開発の検討を進めていきました。

東口エリアは、東口周辺道路の整備方針についてとりまとめを行い、公表しました。生涯学習ゾーンを今後も地域の文化・芸術活動の発信拠点としてふさわしい施設にするために、駐車場不足の解消、施設の設備更新や改修などのリニューアルにより、安定的にサービスが提供できる施設をめざし、「リーパスプラザこがリニューアル基本計画」を策定しました。

西口エリアは、駅前広場などの整備に向けた検討に着手し、まちなかの回遊性向上に向け、臨時交通規制を行う「交通社会実験」と、魅力的なまちかど空間づくりや地域の団体と連携したイベントを行う「沿道利活用社会実験」を実施しました。西口エリア活性化ビジョンを基に、テナントミックス型交流拠点施設として、まちの食交場「るるる」がグランドオープンしました。西口エリア内の店舗による様々なイベントをはじめ、古賀競成館高等学校との連携事業で同エリア内の店舗と連携協力して実施したハロウィンイベントなど、市内外の多くの人々が交流し、にぎわいの創出につながりました。

これらの事業を確実に進めるため、まちづくりのための事業の財源として見込む国からの補助金などを有利に確保するため、また、都市基盤を有効に活用するため、公共交通軸や防災の視点などから立地適正化計画の策定に着手しました。

III 産業力の強化と都市基盤整備の促進

将来に向けて雇用を生み出し、税収を確保していくため、土地利用転換と企業誘致をさらに進めました。今在家地区では、土地区画整理組合の設立が認可され、組合施行による土地区画整理事業が始まりました。青柳大内田地区、青柳釜田地区では、民間開発による造成工事が進捗しました。新原高木地区では、県協議、古賀市都市計画審議会の審議を経て、地区計画を決定しました。青柳迎田地区では工業団地形成に向けて、また、新久保南地区では住宅地・商業地形成に向けて土地利用転換を図るため、市街化区域への編入手続きに着手しました。高田地区では、コミュニティ活力の活性化を図るため、県開発許可条例による建築

規制の緩和を図る区域指定に向けて地元協議、県協議を行いました。

古賀グリーンパークとその周辺での観光・物産・情報発信の機能については、一般社団法人古賀市観光協会の事務所がコスモス館に移転したことにより、コスモス広場利用組合との連携協力を深め、その機能の強化を図りました。

サイクルツーリズムへの関心の高まりを捉え、古賀グリーンパーク、薬王寺水辺公園、小野公園にサイクルスタンドを各1台設置しました。また、本市のさまざまな観光資源を組み合わせたバスツアーのモニタリングやバスツアーを初めて実施し、本市の魅力をPRしました。さらに、市内のおすすめモデルコースなどを掲載した「古賀おでかけガイド」や、市内に点在している観光資源をつないで8コースを設定した「古賀巡ルート」、市内の強みである食品加工団地をはじめとする「工業団地マップ」を作成し、広く市内外に本市の観光資源の魅力をPRして誘客促進を図りました。

農作業の省力化・軽労化をめざし、小野小学校区において、スマート技術を活用した草刈機や農業用センサの試行実証を実施しました。併せて、生活支援策の検討として、小野小学校区内の公民館、老人ホームと農産物直売所を結んでスマートグラスを活用した買い物代行の実証を行いました。

県営薦野清滝地区土地改良事業について国へ申請し、事業採択されたことから、県において実施設計業務を発注しました。

放置竹林対策を具体的に進めるため、公民連携による手法などとして、ボランティア団体の活動などについて情報収集を行いました。林道施設維持のため、林道施設点検・保全計画に基づき、林道長葉山1号線1号橋及

び2号橋の補修を行いました。

新規立地企業における市民の雇用を拡大するため、市企業立地促進条例に基づく雇用奨励金を交付しました。

国、県等などと連携しながら、無料職業紹介所において市内企業への訪問などにより企業が求める人材に関する情報収集を行い、市内を中心とした求職者に対する情報提供や企業とのマッチングなど、きめ細かな支援を実施し、市民の雇用拡大を図りました。

市内中小企業者が金融機関からの借入を容易にできるよう、市商工会や金融機関と連携協力して制度融資を行いました。また、新規創業者が市内で事業を行う際に必要となる経費の一部を補助するなど財政支援を行い、市内企業の経済活動を促進し、市内における産業の振興を図りました。キャッシュレス決済の普及を促進し、市内の消費喚起を図るため、市商工会による古賀市キャッシュレス商品券「こがpay」の販売を支援しました。

ふるさと応援寄附制度を活用し、返礼品の提供による市内事業者の販路拡大、収益向上を図りました。新規返礼品の展開や宣伝広告の強化により、令和5年度の寄附額は過去最高となりました。これらにより地域経済を本格的に復調させました。

インキュベーション施設「快生館」の運営を継続することで、新たな働き方の推進やサテライトオフィスなどの誘致を促進するとともに、運営企業や進出企業などの多くの主体と連携し、地域課題解決をテーマにした実証事業やワーケーションプログラム、企業合宿、起業家育成のためのセミナー開催、多様な人材のネットワーク形成、情報発信の強化などに取り組むことで、進出企業の定着や地域活性化を図りました。

公共交通ネットワークを維持・確保するため、西鉄バス古賀市内線の運

行及び地域移動サポートの支援やコガバスの運行、70歳おでかけバス事業を継続するとともに、AI オンデマンドバス「のるーと古賀」のミーティングポイント増設を行い、公共交通の利便性向上に努めました。また、障がい者や高齢者、妊産婦、子ども、国内外からの旅行者など、誰もが利用しやすい公共交通をめざし、タクシー事業者のユニバーサルデザインタクシー車両4台の導入を支援しました。

インフラ整備にも力を入れました。JR千鳥駅東口のアクセス機能を強化するため、ロータリー及び前面道路について県や警察関係機関と協議を行い、前面道路の整備を実施しました。西鉄宮地岳線跡地は、道路や遊歩道などの空間形成に向け、中川区における整備を行いました。併せて、歩行者の安全確保を地元から強く要望されていた古賀南区において、工事説明会を行うとともに詳細設計を実施しました。

上下水道施設の老朽化対策として更新工事を着実に進めました。未普及対策として、青柳汚水管渠工事を実施しました。下水道施設の老朽化対策として、繰越工事となっていた「令和4年度 古賀水再生センターNo.3 最初沈殿池防食工事」のほか、公共汚水柵及び人孔蓋の更新、千鳥一丁目マンホールポンプ場の汚水ポンプの更新、古賀水再生センターの機械及び電気設備の更新工事を実施しました。

雨水対策については、集中豪雨などによる内水浸水被害を防止するため、「内水浸水想定区域図」を策定しました。令和7年度に更新時期を迎える浄水場について、将来像を検討しました。水源管理について、自己水源能力(最大4,400m³/日)に対し令和5年度の取水実績は2,362m³/日(能力比53.7%)であり、近年は減少傾向となっています。古賀ダムの貯水量減に伴う取水制限が要因です。自己水源の不足分を他団体

(福岡地区水道企業団、北九州市)から補うことにより安定した水量を確保することができました。

経営基盤の強化を図るため、下水道使用料改定に関する研修の受講、公認会計士への相談業務の委託、決算統計の作成や経営分析などを実施しました。上下水道料金の適正化に向けた検討を行うため、古賀市上下水道経営等審議会へ諮問した結果、下水道使用料については現行使用料と比べ約10%の増額改定が必要との答申を受けました。答申に合わせて古賀市下水道条例及び古賀市農業集落排水処理施設条例を改正しました。

IV 誰もが健康で安心して暮らしていける地域社会

令和6年度から6年間の計画となる「ヘルスアップぷらん(健康増進計画(第三次)・食育推進計画(第二次))」を策定しました。今回の計画では、新たな視点として「朝(午前中)を意識した生活の推進」と「計る(測る)を取り入れた生活の推進」を加え、「子ども」「女性」「高齢者」について、重点的に取り組みます。ヘルスアップぷらんの策定に合わせて、市民参画のワークショップにおいて「健康チャレンジ10か条」をより分かりやすく実行可能なフレーズに改訂しました。また、市内小中学校の養護教諭、栄養教諭の意見を踏まえ、現代の子どもが抱える健康課題に対応した「子ども版健康チャレンジ10か条」を新たに作成しました。

全世代型の健康づくりの一環として、産学官連携プロジェクトにより朝食の習慣化やバランスの取れた食事摂取をめざして、各種イベントや情報発信を行いました。また、食生活改善推進会と連携し、子どもクッキングや男性の料理教室、学校での減塩パネル展示、コスモス広場での健康レシ

ピの配置など、市民の食育推進を図りました。

特定健診やがん検診などの受診率向上を図るため、毎年の集団健診の予約手続きを簡略化する「おまかせ予約」を試験的に導入しました。

介護保険制度を持続可能なものとし、安定した介護保険事業運営のため、標準所得段階の多段階化や介護保険料率の設定、地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取組などについて検討を行い、第9期介護保険事業計画・第10次高齢者保健福祉計画を策定しました。

令和3年度から市全域を担当する基幹型地域包括支援センターと市内3か所の圏域地域包括支援センターの設置により、高齢者支援に対する運営体制を強化しました。また、各地域での活動や民生委員・児童委員協議会定例会への参加を通じて顔の見える関係づくりを進めた結果もあり、令和5年度の相談件数は前年度より1.2倍増加しました。

超高齢化により増加する認知症の人との共生と認知症予防を推進するため、認知症の進行状況に応じた症状やサービスを示した「認知症ケアパス」をより分かりやすい内容に見直すとともに、認知症地域支援推進員による周知啓発を行い、理解促進を図りました。また、判断能力が低下した人の権利擁護支援の体制整備を図るため、新たに成年後見制度利用促進基本計画を第3期古賀市地域福祉計画・第6次古賀市地域福祉活動計画に包含して策定しました。

ごみの収集経路上にないご家庭で、近くの集積所まで持ち出すことが困難な要介護者や障がいのある人のごみ出しを支援するとともに、ごみが出ていなかった場合の安否確認も同時に行う「ふれあい収集」を実施しました。

障がいのある人もない人も共に生きていけるインクルーシブな地域社

会をめざし、安全・安心な地域生活の実現のため、第7期古賀市障がい福祉計画・第3期古賀市障がい児福祉計画を策定しました。

障がい福祉サービス事業所などと連携し、障がいのある人の就労促進に向けた模擬合同面接会を開催しました。座学や模擬面接を通して、面接時のマナーを学ぶとともに、実際の面接の雰囲気を経験していただく機会となりました。また、障がい者の就労支援を行う事業所職員のスキルアップを図るため、「福祉での発達障がい支援」をテーマにしたセミナーも開催しました。

第3期古賀市地域福祉計画・第6次古賀市地域福祉活動計画の中で、重層的支援体制整備事業の取組を記載しました。また、生活困窮者自立支援事業のひとつである一時生活支援事業を開始し、住居を失った又はそのおそれのある人に対して一時的に宿泊場所や食事を提供し、自立した生活に向けて支援しました。このほか、家計の見直しなどを行う相談員の勤務日数を増やすことで体制を強化し、生活困窮世帯に対して寄り添った相談支援を行いました。

医療費の適正化や利用者の利便性向上を図るため、国の示すスケジュールに基づき、令和6年3月に生活保護の医療扶助にマイナンバーカードによる資格確認を導入しました。これにより、今後は被保護者がマイナンバーカードを提示して受診することで、医療機関はオンラインでの資格確認が可能になります。また、受診・調剤歴などの確認もできるため、医療機関では重複処方や頻回受診の可能性を判断しやすくなり、被保護者の薬剤などの使用過多による健康被害の削減にもつながるなど、被保護者に対して適切な医療が提供され、医療費の適正化が図られる体制が整いました。

新型コロナワクチンについて関係機関と連携し、個別医療機関での接種体制を構築、初回接種及び追加接種、小児・乳幼児接種を実施しました。

脱炭素社会の実現をめざし、古賀市として市内企業との連携を拡大しました。まずは、二酸化炭素排出削減のモデル事業を立ち上げ、企業から排出される温室効果ガスの見える化を促進し、環境負荷低減をめざした取組のきっかけとすると同時に、事業者が必要とする支援策の検討を行いました。さらに、公共施設などへの再生可能エネルギー設備の導入を検討するため、導入可能性調査を行いました。

今後 10 年間にめざすべき本市の環境像及びこれに向けた施策や取組の基本的な方向を示す「第 3 次環境基本計画」の策定とともに、「第 2 次地球温暖化対策実行計画」及び「第 3 次ごみ処理基本計画」の策定を併せて行いました。3 計画の策定にあたっては、環境審議会に諮問し、令和 5 年度においては、全体会を 4 回、ごみ処理専門部会を 3 回開催し、さまざまな評価・検証などを経て得られた答申を基に策定に至りました。めざす環境像として「うみ・まち・さと・やまが調和しながら共に育つ環のまち こが」を掲げ、「ゼロカーボンシティの実現」、「ワンヘルスの推進」を共通テーマとして設定し、推進していくこととしました。

高齢者のペット飼育支援は、福祉や環境の官民の関係機関が連携して先駆的に取り組むことで適正飼養・終生飼養の促進など成果につながっており、継続していきました。地域で飼い主のいない猫の適正な管理・不妊去勢手術を行う「地域猫活動」を推進しました。さらに、その活動の財源を確保するため、クラウドファンディングを実施し、不妊去勢手術や譲渡検査などの費用助成による支援の強化を図りました。近年、市内での確認が増加している特定外来生物のアライグマの生息調査と捕獲駆除に取り組

み、外来種に関する理解を促進するとともに、生物多様性の保全の推進を図りました。

ラブアース・クリーンアップや大根川一斉清掃をはじめとした地域や海岸、河川などにおける自発的な美化活動に対し、ごみの回収などの支援を行いました。また、環境保全パトロールや夜間パトロールによる不法投棄パトロールの実施により、快適な生活環境の保全の推進を図りました。

資源を有効に活用する循環型社会の形成に向け、外国籍市民を対象としたごみの捨て方講座をはじめとした各種講座を開催し、4R の推進を図りました。

環境人材バンク制度を活用した学習活動の支援や、市民向け講座のさらなる充実を図りました。

汚泥再生処理センター（古賀市海津木苑）建設工事については、施工業者及び工事監理業者と全体会議を毎月行い、工事を円滑に進め、令和 5 年 12 月に供用開始しました。次年度以降の解体工事を行うにあたって仮事務所解体設計業務委託及び既施設解体設計を行いました。

地域防災・減災体制の強化を進めました。令和 7 年度以降の消防団再編に向けて、現役消防団、消防団 0B 会、粕屋北部消防本部など消防団関係者 19 人で構成する懇話会を 4 回開催しました。懇話会では、消防団の分団再編案、機能別団員制度の導入など消防団の持続可能性を高める方策を検討しました。

災害時の避難体制の強化を図るため、浸水想定区域や土砂災害警戒区域内の高齢者施設の管理者などに避難確保計画作成・避難訓練実施の義務化について周知し、助言するなど必要な支援に取り組みました。令和 4 年度

に策定した雨水管理総合計画に基づき、市民が防災情報に役立てられるよう内水の浸水情報をまとめた区域図を作成しました。

地域防犯活動について、自治会統合型交付金を拡充し、地域で実施する巡回防犯パトロールの物資購入などを支援しました。

地域コミュニティにおける人と人とのつながりが、私たち一人ひとりの暮らしの安心につながります。従前から自治会加入を勧奨していますが、さらなる加入促進の取組について検討しました。令和5年度も、地域課題の解決を共に考える「地域づくりサポート制度」、多様な主体の活動を支援する「コミュニティ活動補助金」の制度を継続しました。

行政だけでは困難な課題の解決と共創のまちづくりのさらなる推進のため、企業、大学などが独自の観点や強みを活かした解決策を提案する取組を公募し、市の委託事業として実証実験を実施しました。

市民国保課にセミセルフレジを導入し、庁舎内に証明書自動交付機を設置することにより、市役所窓口の利便性を高め、市民サービス向上と業務効率化につなげました。

「おくやみ窓口」において、死亡に伴い必要となる手続きを対象者ごとに抽出し、その手続きのための申請書類の作成補助及び受付をワンストップで行うことで、遺族が各担当課に移動し個々に申請書を書く負担を軽減しました。

収納管理課に据置型翻訳機を購入し、来庁された外国人の方の納税相談時に使用しました。以前は納付説明に時間を要していましたが、翻訳機を使用することにより、コミュニケーションが円滑になり、相談時間の削減につながりました。

スポーツや文化芸術を地域振興に生かしていきました。NPO 法人古賀市

文化協会と連携を強め、イベントや事業の充実を通じて、文化芸術の振興を図りました。古賀北中学校の余裕教室を活用し、地域開放室として新たに一般開放し、市民の生涯学習活動の推進を図りました。J1 で活躍するアビスパ福岡や、フレンドリータウン協定を結んでいる女子バレーボールチーム福岡ギラソールと様々な交流事業などを行いました。

V 人権と平和を守り、郷土愛を醸成

全国水平社創立 100 周年を記念して制作された、映画「破戒」の上映会を開催しました。市役所・リーパスプラザこが・サンコスモ古賀で行っていた人権標語の垂れ幕を、新たにサンリブ古賀店の協力を得て掲示しました。平成 28 年度に部落差別解消推進法が施行されましたが、インターネット上で個人や団体を誹謗中傷する書き込みなど、依然として差別事象が発生しているため、小中学生を中心とした未来を担う層が多く訪れるししぶ交流センターに屋外掲示板を設置し、人権啓発の強化を図りました。

ジェンダー平等や性の多様性への理解促進に取り組みました。誰もが自分らしく生きることができる社会をめざした取組として「プライド月間」期間中に啓発を行いました。パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度を運用する自治体と「制度の都市間相互利用に関する協定」を締結し連携強化に努めました。

市民スタッフの皆さまと一緒に週 2 回開催している交流型日本語教室に運営マネージャーを導入し、これまで以上に学習する外国籍市民などのニーズにきめ細かく対応しました。また、対面や電話のほか、実情に合わせて SNS を活用するなど、相談体制の充実を図りました。子どもの頃から世界の国や地域の人たちと交流ができる原体験は、国際感覚を醸成するうえ

で非常に重要です。タイからの小学生と古賀東小学校及び玄界高等学校との国際交流を実施しました。

恒久平和に向けた取組として、原爆投下日、終戦記念日に合わせた黙とうの呼びかけ及び「原爆の絵」展を開催し、市民への周知啓発を図りました。特攻で亡くなった古賀出身の安部正也大尉の関係者から聞き取りを行い、紹介パネル・提供資料などの展示を通じて、戦争が生活に与える影響について、市民と共有しました

名誉市民の中村哲氏の顕彰のあり方を市民と共に考えるシンポジウムをワールドカフェ形式で開催しました。グループ討議では、ペシャワール会の方も加わり、「中村哲氏の志を未来へつないでいくには」などをテーマに、参加者が自由に語り合い、思いを共有しました。古賀西小学校の児童が作成した中村哲氏の絵本の原稿を印刷・製本するため、クラウドファンディングを実施しました。全国の方から総額 3,477,000 円の寄附をいただき、小中学校や図書館、病院、寄附者などに配布しました。

国史跡船原古墳の調査は、引き続き九州歴史資料館と共同研究を進めました。これまでの研究の成果として、文化財調査報告書第 85 集「船原古墳Ⅳ・1号土坑遺物出土状況事実報告編」を刊行しました。また出土品の専門的知識・見解を得るために専門家を招いての検討会を行い、今後の報告に向けての貴重な意見を得ることができました。船原古墳土坑発見 10 周年を迎え、九州歴史資料館で開催された記念展「船原古墳とかがやく馬具の精華」鑑賞の市民見学会（バスツアー）を開催しました。また、歴史資料館では特集展示を開催しました。

小倉百人一首競技かるた大会を開催し、市出身のトップ選手によるエキシビジョンマッチやリレーかるたで市内外の小中学生の体験機会を創

出しました。市在住のアーティスト三上真輝氏により制作され、JR 古賀駅に長年飾られていたランタンを古賀西小学校の生徒、玄界高等学校美術部員とともにリメイク、また、移住体験の親子とともに古賀市の子どもたちがランタンの絵付けを体験し、シビックプライドの醸成につなげました。

Ⅵ デジタル導入による市民サービス向上と業務効率化

市ホームページに加え、市公式 LINE や電子申請システムなどを活用し、市役所の様々な手続きのオンライン化を推進しました。職員がプログラミング不要で簡単にシステムを作成できるノーコードツールや RPA、AI-OCR などの活用を拡大し、行政事務の効率化を図りました。統合型地理情報システムの整備を行い、各課が管理している地理情報システムを統合しました。また令和 6 年 3 月 27 日に「こがまっぷ」を公開しました。

令和 7 年度の自治体情報システム標準化・共通化移行のため、対象業務 20 業務のうち 13 業務及び共通項目（総合収納管理）について、現行の基幹システムと標準仕様との比較分析を実施しました。

職員が利用するパソコンのうち約半数を更新し、無線化したことにより会議や研修などにおけるペーパーレス化が進みました。

改正個人情報保護法により地方公共団体で利用可能となる仮名加工情報を、AI や機械学習により分析し、社会課題解決に取り組みました。

これらの取組を推進していくスキルを有した人材、デジタル人材を育成するため、職員研修を実施しました。なお、デジタル庁に派遣している職員との連携も密にし、政府の動きを確実に捉え、様々な取組を進めていきました。

主要事業の実績

主要事業の実績 対象事業一覧

(大事業に係る決算額の単位：円)

番号	ページ	施策名	会計	款	項	目	事業費名称	大事業に係る 決算額	担当課	決算に 関する 資料
1	19	1-1-1 みんなで見守る子育て支援の推進	一般	3 4	2 1	4 5	妊娠・出産・乳幼児期支援事業費	69,346,173 179,686,541	子育て支援課	152 176
2	19	1-1-1 みんなで見守る子育て支援の推進	一般	3	2	4	児童権利擁護事業費	2,773,923	子育て支援課	154
3	20	1-1-2 子育ての経済的負担の軽減	一般	3	2	4	妊娠・出産経済的支援事業費	74,600	子育て支援課	156
4	20	1-1-2 子育ての経済的負担の軽減	一般	3 3	2 2	5 6	子育て支援医療事業費	42,500,744 222,874,221	市民国保課	158
5	21	1-1-2 子育ての経済的負担の軽減	一般	10	1	3	修学支援事業費	86,029,780	学校教育課	242
6	21	1-1-3 幼児教育・保育サービスの充実	一般	3	2	2	幼児教育・保育提供事業費	2,186,560,869	子育て支援課	140
7	22	1-2-1 未来を切り拓く教育の充実	一般	10	1	3	学力・体力向上推進事業費	55,868,529	学校教育課	244
8	22	1-2-1 未来を切り拓く教育の充実	一般	10	1	3	学習支援体制充実事業費	15,524,245	学校教育課	246
9	23	1-2-1 未来を切り拓く教育の充実	一般	10	1	5	学校運営事業費	227,190,930	学校教育課	250
10	23	1-2-2 学校教育施設の充実	一般	10	1	5	学校施設管理事業費	888,996,877	教育総務課	252
11	24	1-2-2 学校教育施設の充実	一般	10	3	3	給食センター管理運営事業費	225,200,269	学校給食センター	282
12	24	1-3-1 青少年が健やかに育つ環境の充実	一般	10	2	6	青少年育成活動推進事業費	7,388,151	青少年育成課	276
13	25	1-3-1 青少年が健やかに育つ環境の充実	一般	3	2	3	児童館管理運営事業費	13,138,231	青少年育成課	148
14	25	1-3-1 青少年が健やかに育つ環境の充実	一般	3	1	8	スタンドアローン支援事業費	1,509,086	隣保館	132
15	26	1-3-2 明るく元気に交流し合うスポーツ活動の促進	一般	10	3	2	スポーツ施設管理事業費	73,800,540	生涯学習推進課	280
16	26	1-3-3 豊かな心を育む文化芸術活動の促進	一般	10	2	7	文化芸術振興事業費	5,020,983	文化課	276
17	27	1-3-4 郷土愛を育む文化財の保存・活用	一般	10	2	5	文化財調査・研究推進事業費	53,597,197	文化課	270
18	27	1-3-4 郷土愛を育む文化財の保存・活用	一般	10	2	5	文化財公開・活用事業費	1,262,599	文化課	272
19	28	1-3-5 読む・学ぶ・調べる図書館活動の推進	一般	10	2	4	図書館運営事業費	24,532,470	文化課	268

番号	ページ	施策名	会計	款	項	目	事業費名称	大事業に係る 決算額	担当課	決算に 関する 資料
20	28	1-3-6 学び合いを支える社会教育活動の 活性化	一般	10	2	2	社会教育関連施設管理事業費	111,596,881	生涯学習推進課	260
21	29	1-4-1 すべての人権の尊重	一般	3	1	7	人権意識向上事業費	10,489,106	人権センター	130
22	29	1-4-1 すべての人権の尊重	一般	3	1	8	人権意識向上事業費	4,061,316	隣保館	132
23	30	1-4-2 性別にとらわれない多様な生き方 の尊重	一般	3	1	7	性の多様性尊重事業費	519,131	人権センター	132
24	30	1-4-3 ジェンダー平等の実現と男女共同 参画の推進	一般	3	2	4	DV対策事業費	5,670,550	子育て支援課	156
25	31	1-4-4 自分らしく暮らせる多文化共生の 推進	一般	2	1	9	多文化共生推進事業費	1,593,108	まちづくり推進課	84
26	31	2-1-1 人とまちの健康づくりの推進	一般 介保	4 3	1 2	3 1	健康づくり推進事業費	1,732,735 741,434	健康介護課	172 22
27	32	2-1-1 人とまちの健康づくりの推進	一般 介保	4 3	1 2	3 1	食育推進事業費	269,583 385,662	健康介護課	172 22
28	32	2-1-2 保健の充実と医療連携	一般 国保	4 4	1 1	5 1	疾病予防・早期発見事業費	36,427,195 38,710,333	健康介護課	180 16
29	33	2-1-2 保健の充実と医療連携	一般	4	1	4	感染症対策事業費	245,327,520	健康介護課	174
30	33	2-2-2 最期まで尊厳のある暮らしを続け るための支援の充実	介保	3	3	1	地域包括支援センター運営事業 費	88,912,431	福祉課	26
31	34	2-2-2 最期まで尊厳のある暮らしを続け るための支援の充実	介保	3 3	3 3	1 2	認知症総合支援事業費	1,254,213 411,854	福祉課	28 30
32	34	2-3-2 自分らしさを発揮できる社会参加 の促進	一般	3	1	5	障がい者就労促進事業費	9,574	福祉課	128
33	35	2-4-1 困ったときに頼り合える地域福祉 の推進	一般	2	1	1	恒久平和希求事業費	60,000	総務課	56

番号	ページ	施策名	会計	款	項	目	事業費名称	大事業に係る 決算額	担当課	決算に 関する 資料
34	35	2-4-2 自立支援の推進と包括的支援の充実	一般	2	1	10	被災者支援事業費	127,900	総務課	88
35	36	2-4-2 自立支援の推進と包括的支援の充実	一般	3	3	1	生活保護事業費	1,113,099,196	福祉課	162
36	36	2-4-2 自立支援の推進と包括的支援の充実	一般	3	1	1	包括的自立支援事業費	35,379,618	福祉課	114
37	37	3-1-1 活気とにぎわいを創り出す商工業の活性化	一般	2	1	9	商工業活性化推進事業費	704,519,156	商工政策課	82
				7	1	2		18,619,637		208
38	37	3-1-1 活気とにぎわいを創り出す商工業の活性化	一般	7	1	2	経営支援事業費	61,924,613	商工政策課	210
39	38	3-1-2 企業立地の促進と新たな雇用の創出	一般	7	1	2	企業立地促進事業費	828,308	商工政策課	210
40	38	3-1-2 企業立地の促進と新たな雇用の創出	一般	5	1	1	職業紹介事業費	8,314,418	商工政策課	190
41	39	3-1-2 企業立地の促進と新たな雇用の創出	一般	2	1	6	インキュベーション促進事業費	73,573,487	経営戦略課	76
42	39	3-1-3 魅力あふれる観光の活性化	一般	7	1	3	観光客誘致促進事業費	10,599,870	商工政策課	210
43	40	3-2-1 農地の保全と有効活用	一般	6	1	4	農業基盤整備促進事業費	10,461,000	農林振興課	202
44	40	3-2-2 持続可能な農業経営の推進	一般	6	1	3	農業者経営安定支援事業費	90,701,110	農林振興課	194
45	41	3-2-3 森林を守る林業の振興	一般	6	2	1	林道施設管理事業費	14,177,900	農林振興課	204
46	41	4-1-1 地域特性に応じた土地利用の推進	一般	8	4	1	都市計画管理事務費	148,956	都市整備課	222
47	42	4-1-1 地域特性に応じた土地利用の推進	一般	8	4	1	古賀駅周辺整備事業費	4,345,000	都市整備課	222
48	42	4-1-1 地域特性に応じた土地利用の推進	一般	8	4	1	古賀駅周辺整備事業費	53,314,664	古賀駅周辺開発推進課	222
49	43	4-1-1 地域特性に応じた土地利用の推進	一般	8	2	3	千鳥駅東口周辺整備事業費	45,588,400	建設課	218
50	43	4-1-3 快適な道路網の整備	一般	8	2	3	道路改良事業費	180,133,089	建設課	218

番号	ページ	施策名	会計	款	項	目	事業費名称	大事業に係る 決算額	担当課	決算に 関する 資料
51	44	4-1-3 快適な道路網の整備	一般	8	2	3	幹線道路整備事業費	2,500,000	建設課	218
				8	4	3		38,973,118		228
52	44	4-1-4 安全・安心な水道サービスの持続	水道	-	-	-	水道事業経営管理事務費	-	上下水道課	-
53	45	4-1-4 安全・安心な水道サービスの持続	水道	-	-	-	配水管管理事業費	-	上下水道課	-
54	45	4-1-4 安全・安心な水道サービスの持続	水道	-	-	-	水源・取水施設管理事業費	-	上下水道課	-
55	46	4-1-5 下水道の整備と経営基盤の強化	下水	-	-	-	下水道事業経営改善推進事業費	-	上下水道課	-
56	46	4-1-5 下水道の整備と経営基盤の強化	下水	-	-	-	下水道施設管理事業費	-	上下水道課	-
57	47	4-2-1 持続可能な公共交通ネットワークの確立	一般	2	1	1	公共交通維持・確保事業費	121,152,071	経営戦略課	56
58	47	4-2-1 持続可能な公共交通ネットワークの確立	一般	2	1	1	公共交通利便増進事業費	2,866,347	経営戦略課	56
59	48	4-3-2 命を守る防災・危機管理の推進	一般	9	1	2	防災体制強化事業費	56,256,574	総務課	232
				9	1	4		2,004,815		236
60	48	4-4-1 快適な生活環境の保全	一般	4	2	1	環境美化推進事業費	3,201,376	環境課	182
61	49	4-4-2 資源を有効に活用する循環型社会の形成	一般	4	2	1	循環型社会形成推進事業費	9,244,548	環境課	182
				4	2	2		360,195,488		184
62	49	4-4-2 資源を有効に活用する循環型社会の形成	一般	4	2	3	し尿処理事業費	1,688,372,871	環境課	186
63	50	4-4-3 環境と人と動物のよりよい関係を築く動物愛護の推進	一般	4	1	2	人と動物との共生社会推進事業費	1,867,565	環境課	168
64	50	4-4-4 豊かな恵みを次世代へ引き継ぐ自然環境と生物多様性の保全	一般	4	1	2	自然共生社会推進事業費	1,829,362	環境課	168
65	51	4-4-5 私たちにできる地球温暖化の防止	一般	4	1	2	地球温暖化防止対策推進事業費	11,733,765	環境課	168
66	51	5-1-1 みんなでつながる地域づくりの推進	一般	2	1	9	コミュニティ活動推進事業費	116,436,856	まちづくり推進課	86

番号	ページ	施策名	会計	款	項	目	事業費名称	大事業に係る 決算額	担当課	決算に 関する 資料
67	52	5-1-2 積極的な情報発信・情報共有とシティプロモーションの推進	一般	2	1	1	公聴事業費	1,096,473	経営戦略課	58
68	52	5-1-2 積極的な情報発信・情報共有とシティプロモーションの推進	一般	2	1	6	シティプロモーション推進事業費	8,542,867	経営戦略課	78
69	53	5-1-3 市民から信頼される持続可能な行財政運営	一般	2	1	1	公共交通施策推進事務費	6,050,430	経営戦略課	54
70	53	5-1-3 市民から信頼される持続可能な行財政運営	一般	2	1	1	行政庶務事務費	4,524,224	総務課	60
71	54	5-1-3 市民から信頼される持続可能な行財政運営	一般	2	1	1	デジタル化推進事業費	36,100,105	デジタル推進課	60
72	54	5-1-3 市民から信頼される持続可能な行財政運営	一般	2	1	1	社会保障・税番号制度管理事務費	3,101,000	デジタル推進課	62
73	55	5-1-3 市民から信頼される持続可能な行財政運営	一般	2	1	5	契約等管理事務費	2,861,383	管財課	74
74	55	5-1-3 市民から信頼される持続可能な行財政運営	一般	2	1	6	総合政策推進事務費	23,115,393	経営戦略課	74
75	56	5-1-3 市民から信頼される持続可能な行財政運営	一般	2	1	6	移住定住促進事業費	24,148,000	経営戦略課	78
76	56	5-1-3 市民から信頼される持続可能な行財政運営	一般	2	1	8	電子情報管理事務費	266,372,324	デジタル推進課	80
77	57	5-1-3 市民から信頼される持続可能な行財政運営	一般	2	2	2	収納管理事務費	20,603,369	収納管理課	94
78	57	5-1-3 市民から信頼される持続可能な行財政運営	一般	2	3	1	住民情報管理事務費	41,112,499	市民国保課	96
				2	5	2		7,000		104

番号	ページ	施策名	会計	款	項	目	事業費名称	大事業に係る 決算額	担当課	決算に 関する 資料
79	58	5-1-3 市民から信頼される持続可能な行 財政運営	一般	3	1	1	地域保健・福祉施策推進事務費	41,897,684	福祉課	110
80	58	5-1-3 市民から信頼される持続可能な行 財政運営	一般	3	1	5	障がい者施策推進事務費	1,279,930	福祉課	122
81	59	5-1-3 市民から信頼される持続可能な行 財政運営	一般	3	2	1	子育て支援施策推進事務費	309,964	子育て支援課	138
82	59	5-1-3 市民から信頼される持続可能な行 財政運営	一般	4	1	2	環境施策推進事務費	18,692,265	環境課	166
83	60	5-1-3 市民から信頼される持続可能な行 財政運営	一般	4	1	3	地域保健・福祉施策推進事務費	1,687,858	健康介護課	170
84	60	5-1-3 市民から信頼される持続可能な行 財政運営	一般	10	3	1	スポーツ施策推進事務費	12,465,420	生涯学習推進課	278
85	61	5-1-3 市民から信頼される持続可能な行 財政運営	介保	1	4	1	高齢者施策推進事務費	1,953,200	健康介護課	14

●令和5年度予算案の概要掲載事業への対応



政策 1-1 子育て支援の充実 施策 1-1-1 みんなで見守る子育て支援の推進		
会計	款項目	事業費名称
一般	3 款 2 項 4 目 4 款 1 項 5 目	妊娠・出産・乳幼児期支援事業費
大事業に係る決算額		決算に関する資料
69,346,173 円		152 ページ
179,686,541 円		176 ページ
		担当課
		子育て支援課

全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができるよう妊娠期から出産・子育てまで一貫して相談に応じ、必要な支援につなげるとともに、妊娠と出生のタイミングで計 10 万円を給付しました。

乳児家庭全戸訪問の際には、出生した子どもに、「うまれてきてくれてありがとう BOX～こがたからばこ～」を配付し、地域全体で一人ひとりの子どもと子育て家庭を支える思いを伝えました。


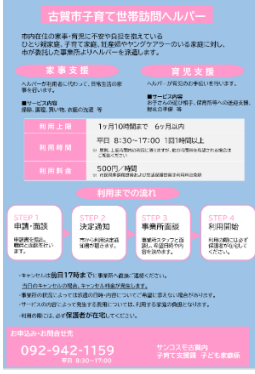
出産後、体調や育児に不安のある母親が安心して子育てができるよう、市が委託する医療機関で宿泊や日帰りにより、母親のからだこころのケアや育児サポートなどを行う産後ケア事業を実施しました。


また、乳幼児健康診査においては、3 歳児健康診査に屈折検査機器を導入し、視覚検査体制の強化を図りました。

政策 1-1 子育て支援の充実 施策 1-1-1 みんなで見守る子育て支援の推進		
会計	款項目	事業費名称
一般	3 款 2 項 4 目	児童権利擁護事業費
大事業に係る決算額		決算に関する資料
2,773,923 円		154 ページ
		担当課
		子育て支援課

児童虐待を未然に防ぐために、未就園児のいる家庭を訪問したり、乳幼児健康診査時に面談したりすることで、問題が生じた際に相談しやすい関係づくりに取り組みました。また、多子世帯や発達に支援が必要な児童がいるなど、子育てに支援が必要な家庭に家事援助や育児支援を行う「子育て世帯訪問支援事業」を実施し、令和5年度は 12 世帯が利用しました。子育ての負担が軽減しただけでなく、サービスを提供する中で見えてきた家庭が抱える様々な問題に対して、必要なサービスや継続的な相談につなげることができました。

政策 1-1 子育て支援の充実 施策 1-1-2 子育ての経済的負担の軽減		
会計	款項目	事業費名称
一般	3 款 2 項 4 目	妊娠・出産経済的支援事業費
大事業に係る決算額		決算に関する資料
74,600 円		156 ページ
		担当課
		子育て支援課
<p>市民税非課税世帯などの低所得の妊婦の方に対し、経済的な負担を減らし、必要な支援につなげるため、妊娠判定を受けるための初回産科受診料を補助しました。</p> <p>また、子どもを産み育てたいという人が安心して妊娠・出産できるよう、不妊治療に要する費用の一部を助成しました。</p>		
実績		
補助金等名称		件数
低所得妊婦初回産科受診料補助金		4 件
特定不妊治療費助成金		1 件
		

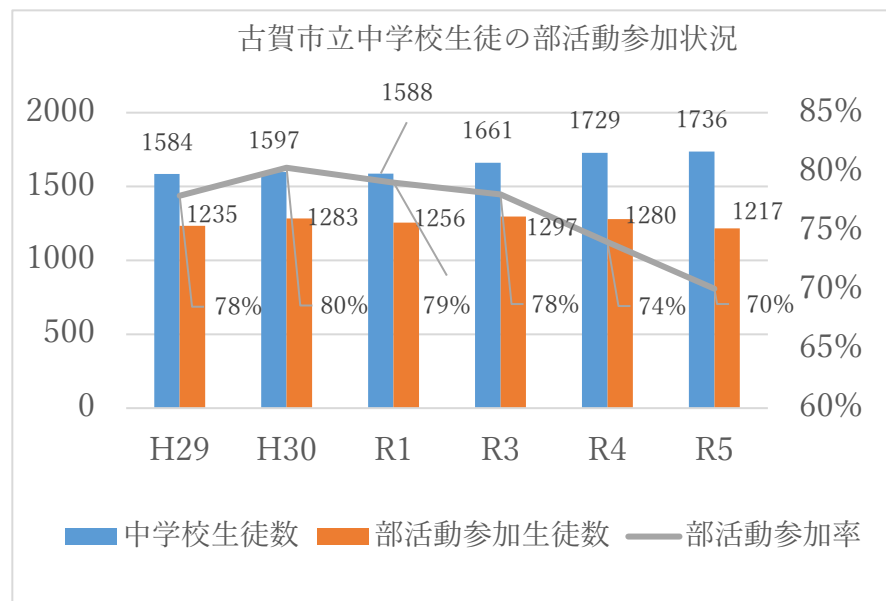
政策 1-1 子育て支援の充実 施策 1-1-2 子育ての経済的負担の軽減		
会計	款項目	事業費名称
一般	3 款 2 項 5 目 3 款 2 項 6 目	子育て支援医療事業費
大事業に係る決算額		決算に関する資料
42,500,744 円 222,874,221 円		158 ページ
		担当課
		市民国保課
<p>子育てを社会全体で担い、子育て世帯の経済状況に関係なく、子どもたちが安心して必要な医療が受けられるよう、令和 5 年 10 月からは、就学前までの子どもを対象に子ども医療費の無償化を拡大しました。また、令和 6 年 4 月からは、高校生世代である 18 歳まで無償化を拡大することとし、その実施に向け準備を行いました。</p>		
		

5 政策 1-1 子育て支援の充実 施策 1-1-2 子育ての経済的負担の軽減				
会計	款項目	事業費名称		
一般	10 款 1 項 3 目	修学支援事業費		
大事業に係る決算額		決算に関する資料	担当課	
86,029,780 円		242 ページ	学校教育課	
<p>物価高騰に直面する子育て世帯への独自の経済的支援として、令和 4 年度に引き続き、就学援助の支給基準を世帯収入が生活保護基準額の 1.3 倍以内から 1.5 倍以内へ引き下げるとともに、新たに市外の国公立小中学校へ通学する児童生徒についても就学援助の対象とすることで、多くの子ども達の就学を支援することができました。</p> <p>また、高等学校等入学支援金について、学校を通じて生徒へ周知するとともに、市外からの転入生に対しては、転入の手続きの際に高等学校等入学支援金に関する資料を配布し、制度の周知に努めました。</p>				
【高等学校等入学支援金支給状況】				
入学年度	申請者数	認定者数 (公立/私立の別)	支給総額	割合 (※)
R4	79 人	59 人 (公立 30 人、私立 29 人)	2,795 千円	11.5%
R5	90 人	66 人 (公立 35 人、私立 31 人)	3,105 千円	11.3%
R6	82 人	63 人 (公立 32 人、私立 31 人)	2,985 千円	11.1%
※割合：全中学 3 年生に対する受給者の割合				

6 政策 1-1 子育て支援の充実 施策 1-1-3 幼児教育・保育サービスの充実			
会計	款項目	事業費名称	
一般	3 款 2 項 2 目	幼児教育・保育提供事業費	
大事業に係る決算額		決算に関する資料	担当課
2,186,560,869 円		140 ページ	子育て支援課
<p>市内の保育所などが実施した合同就職・相談説明会や保育士の宿舍借り上げの助成など、保育士確保を図る取組を支援しました。</p> <p>医療的ケアが必要な児童を鹿部保育所で受け入れる体制を維持するとともに、私立保育所などにおいても受入体制を維持するため、看護師を配置する費用の助成を継続し、医療的ケア児の入所を支援しました。</p> <p>宗像市、福津市、新宮町との病児保育の広域連携を開始し、利便性向上を図りました。</p> <p>物価高騰に伴う給食費の値上げ抑制のため、保育所などへ給食費の補助を行いました。</p>			
			

7	政策 1-2 学校教育の充実 施策 1-2-1 未来を切り拓く教育の充実	
	会計	事業費名称
一般	10 款 1 項 3 目	学力・体力向上推進事業費
大事業に係る決算額		決算に関する資料
55,868,529 円		244 ページ
		担当課
		学校教育課

古賀市部活動地域移行等検討委員会を開催し、古賀市立中学校の部活動における、持続可能な運営主体の在り方、学校と地域が連携した新たな部活動の在り方、指導者確保などについて調査協議し、生徒の多様な体験の機会を確保するとともに、持続可能な運営体制の確立について検討しました。また、教職員及び生徒にアンケート調査を実施し、部活動に関する実態について調査しました。






8	政策 1-2 学校教育の充実 施策 1-2-1 未来を切り拓く教育の充実	
	会計	事業費名称
一般	10 款 1 項 3 目	学習支援体制充実事業費
大事業に係る決算額		決算に関する資料
15,524,245 円		246 ページ
		担当課
		学校教育課

増加傾向にある不登校や課題を抱える児童生徒及び保護者の支援のため、スクールソーシャルワーカーの配置時間を増やし、教育相談体制の充実を図るとともに、教育支援センター「あすなる教室」を古賀グリーンパーク内に移転し、広くなった施設や周辺環境を活用した体験活動の充実などにより機能を強化しました。







政策 1-2 学校教育の充実 施策 1-2-1 未来を切り拓く教育の充実		
会計	款項目	事業費名称
一般	10 款 1 項 5 目	学校運営事業費
大事業に係る決算額		決算に関する資料
227,190,930 円		250 ページ
		担当課
		学校教育課
<p>全ての小中学校の水泳授業を民間に委託し、季節や天候に左右されることなく、インストラクターから専門的な指導を計画的に受けられることにより、児童生徒の泳力向上につながりました。また、水温・水質管理、危険箇所の点検、掃除などプールの維持管理に係る教員の負担軽減にもつながりました。</p> <p>また、古賀西小学校の児童が作成した中村哲氏の絵本の原稿を印刷・製本するため、クラウドファンディングを実施しました。全国の方から総額 3,477,000 円の寄附をいただき、小中学校や図書館、病院、寄附者などに配布しました。</p>		
		

政策 1-2 学校教育の充実 施策 1-2-2 学校教育施設の充実		
会計	款項目	事業費名称
一般	10 款 1 項 5 目	学校施設管理事業費
大事業に係る決算額		決算に関する資料
888,996,877 円		252 ページ
		大事業に係る決算額
		教育総務課
<p>①古賀東中学校校舎の大規模改造工事の第 1 期工事を行いました。</p> <p>②衛生環境向上・バリアフリー化のため、トイレの洋式化や「みんなのトイレ」の整備について、古賀東、古賀西、花鶴各小学校は改修工事、小野小学校は改修に向けた設計を行いました。</p> <p>③小中学校の理科室、家庭科室、技術室への空調整備工事を行い、教室部分の空調整備率が 100%となりました。</p> <p>④小中学校 8 校の体育館照明の LED 化を行い、省電力化を進めました。</p>		
		
大規模改造工事で内装の一部が リニューアルされた古賀東中学校		洋式化・バリアフリー化された 花鶴小学校のトイレ


11 政策 1-2 学校教育の充実 施策 1-2-2 学校教育施設の充実		
会計	款項目	事業費名称
一般	10 款 3 項 3 目	給食センター管理運営事業費
大事業に係る決算額		決算に関する資料
225, 200, 269 円		282 ページ
		担当課
		学校給食センター
<p>令和 6 年 4 月から給食費の公会計化運用開始をめざしていましたが、国の「子ども未来戦略（案）」において給食費無償化に向けた調査などの実施が示されたため、公会計化の延期を決定しました。</p> <p>給食センター設備更新においては、26 年間使用している食器等洗浄機の更新工事を行えるよう、令和 5 年度に入札及び契約を完了し、令和 6 年度から 8 年度にかけ工事を実施する予定としています。</p> <p>物価高騰に伴う給食材料費値上げにより、保護者負担の給食費で不足する 34, 654 千円を補助することで、保護者の負担となる給食費の値上げを行うことなく、これまでどおりの栄養バランスや量を保った給食を提供できました。</p>		
		


12 政策 1-3 つながりをもつる学ぶ機会の充実 施策 1-3-1 青少年が健やかに育つ環境の充実			
会計	款項目	事業費名称	
一般	10 款 2 項 6 目	青少年育成活動推進事業費	
大事業に係る決算額		決算に関する資料	
7, 388, 151 円		276 ページ	
		担当課	
		青少年育成課	
<p>地域住民が主体となった活動が再開し、子どもたちの体験活動の充実を図ることができました。</p> <p>放課後子供教室は、全小学校区で地域住民主体の団体に委託する形で実施し、子どもたちの放課後の居場所・活動の場を提供することができました。</p> <p>通学合宿は、青柳校区（5 泊 6 日、35 人）・古賀西校区（3 泊 4 日、18 人）・花鶴校区（4 泊 5 日、5 人）で、地域の公民館を拠点に実施しました。</p> <p>寺子屋は、花鶴校区・古賀西校区・舞の里校区で、学校施設や地域の公民館を活用して実施し、延べ 269 人が参加しました。</p>			
(放課後子供教室の実施状況)			
広場名	開所日数	参加者数	学童連携
東小放課後子ども広場	94 日	7, 099 人	有
千鳥チャレンジアンビシャス広場	80 日	402 人	有
花見小アンビシャス広場	20 日	662 人	有
舞っ子アンビシャス広場	81 日	2, 739 人	有
西っ子アンビシャス広場	43 日	631 人	無
あおやぎっ子ニコニコ広場	47 日	1, 977 人	有
小野っ子ゆうゆう広場	42 日	1, 350 人	有
かづるっ子広場	29 日	2, 015 人	有


13	政策 1-3 つながりをもつる学ぶ機会の充実 施策 1-3-1 青少年が健やかに育つ環境の充実											
会計	款項目	事業費名称										
一般	3 款 2 項 3 目	児童館管理運営事業費										
大業に係る決算額		決算に関する資料										
13, 138, 231 円		148 ページ										
		担当課										
		青少年育成課										
<p>千鳥児童センター及びししぶ児童センターでは、来館者数が大幅に増加し、乳幼児親子から高校生等まで多くの子どもたちの行き場所・居場所として利用されました。</p> <p>また、米多比児童館については、建物の老朽化などに対応するため、11月1日から青柳児童センターへ機能を移転し、引き続き事業を実施しました。</p> <p>(児童館・児童センター来館者数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>来館者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>米多比児童館 (4月~10月)</td> <td>1,285人</td> </tr> <tr> <td>青柳児童センター (11月~3月)</td> <td>1,822人</td> </tr> <tr> <td>千鳥児童センター</td> <td>18,518人</td> </tr> <tr> <td>ししぶ児童センター</td> <td>11,398人</td> </tr> </tbody> </table>			施設名	来館者数	米多比児童館 (4月~10月)	1,285人	青柳児童センター (11月~3月)	1,822人	千鳥児童センター	18,518人	ししぶ児童センター	11,398人
施設名	来館者数											
米多比児童館 (4月~10月)	1,285人											
青柳児童センター (11月~3月)	1,822人											
千鳥児童センター	18,518人											
ししぶ児童センター	11,398人											
												


14	政策 1-3 つながりをもつる学ぶ機会の充実 施策 1-3-1 青少年が健やかに育つ環境の充実	
会計	款項目	事業費名称
一般	3 款 1 項 8 目	スタンドアローン支援事業費
大業に係る決算額		決算に関する資料
1, 509, 086 円		132 ページ
		担当課
		隣保館
<p>経済的に厳しい世帯やさまざまな事情を抱える世帯の中学生を中心に据え、将来へ希望を抱き自立した社会生活が営めることを目的とし、家庭学習支援や社会体験学習支援を行うとともに、居場所の提供を行いました。また、NPO 法人フードバンク福岡などから提供された食料品を活用し、学習環境の充実に努めました。</p> <p>令和5年度は、年間59人(延べ1,973人)の参加があり、家庭学習支援を84回(うち軽食の提供は73回)、社会体験学習を6回実施しました。</p>		
 <p>家庭学習支援</p>		
 <p>軽食提供 (NPO 法人フードバンク福岡)</p>		
 <p>軽食提供 (市内業者)</p>		



15	政策 1-3 つながりを通じる学ぶ機会の充実 施策 1-3-2 明るく元気に交流し合うスポーツ活動の促進				
	会計	款項目	事業費名称		
一般	10 款 3 項 2 目	スポーツ施設管理事業費			
大事業に係る決算額		決算に関する資料	担当課		
73,800,540 円		280 ページ	生涯学習推進課		
古賀北中学校の余裕教室を活用し、地域開放室として新たに一般開放し、市民の生涯学習活動の推進を図りました。					
古賀北中学校地域開放室の利用状況					
施設名	使用可能日数	使用日数	日数使用率	延べ利用件数	延べ利用人数
地域開放室 1	355	17	4.8%	17	322
地域開放室 2	355	14	3.9%	14	242
多目的室 1	355	27	7.6%	27	222
					


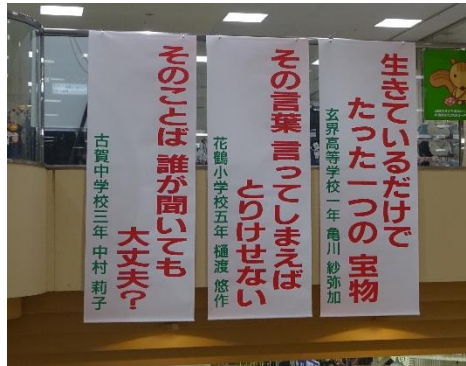

16	政策 1-3 つながりを通じる学ぶ機会の充実 施策 1-3-3 豊かな心を育む文化芸術活動の促進		
	会計	款項目	事業費名称
一般	10 款 2 項 7 目	文化芸術振興事業費	
大事業に係る決算額		決算に関する資料	担当課
5,020,983 円		276 ページ	文化課
NPO 法人古賀市文化協会と連携を強め、イベントや事業の充実を通じて、文化芸術の振興を図りました。			
<ul style="list-style-type: none"> ■アートバス事業（コーディネーター協力） <ul style="list-style-type: none"> ・11/18、25 於：福岡県立美術館 小中学生 40 人参加、市民・学生ボランティアのコーディネート 			
			
<ul style="list-style-type: none"> ■文化力向上事業（ゲストティーチャー協力） 			
学校名・学年・人数		日程	協力内容
花 鶴 小 5 年 109 人		7/6、7	・赤星夫妻の絵の出張展示と「対話型鑑賞」の進行
古賀東小 5 年 73 人		8/23、24	
舞の里小 5 年 53 人		8/29	
花 見 小 5 年 110 人		10/7	・児童の抽象画作成時に技術的な指導
計 4 校 345 人			
<ul style="list-style-type: none"> ・市芸術文化の祭典、JR 古賀駅美術館において展示 			
<ul style="list-style-type: none"> ■文化芸術振興事業（委託） <ul style="list-style-type: none"> ・市芸術文化の祭典 芸能 2,455 人・芸術 844 人来場 ・コンサート事業 年 11 回、33 団体出演、3,576 人来場 (内 4 回、中学校区毎に地域展開をした) ・童謡まつり事業 745 人出演 2,382 人来場 			

17	政策 1-3 つながりをもつる学ぶ機会の充実 施策 1-3-4 郷土愛を育む文化財の保存・活用	
会計	款項目	事業費名称
一般	10 款 2 項 5 目	文化財調査・研究推進事業費
大業に係る決算額		決算に関する資料
53,597,197 円		270 ページ
		担当課
		文化課
<p>国史跡船原古墳の調査は、引き続き九州歴史資料館と共同研究を進めました。これまでの研究の成果として、文化財調査報告書第 85 集「船原古墳Ⅳ・1 号土坑遺物出土状況事実報告編」を刊行しました。また出土品の専門的知識・見解を得るために専門家を招いての検討会を行い、今後の報告に向けての貴重な意見を得ることができました。</p> <p>また開発などに伴い失われる文化財の記録保存のための発掘調査を薦野清滝地区遺跡ほか 5 ヶ所で行いました。</p> <p>市内の文化財では、「旦ノ原の井戸と顕彰碑（1 件 2 点）」を市指定文化財第 16 号に指定しました。</p>		
		

18	政策 1-3 つながりをもつる学ぶ機会の充実 施策 1-3-4 郷土愛を育む文化財の保存・活用	
会計	款項目	事業費名称
一般	10 款 2 項 5 目	文化財公開・活用事業費
大業に係る決算額		決算に関する資料
1,262,599 円		272 ページ
		担当課
		文化課
<p>船原古墳土坑発見 10 周年を迎え、九州歴史資料館で開催された記念展「船原古墳とかがやく馬具の精華」鑑賞の市民見学会（バスツアー）を開催し、2 日間で 58 名の参加がありました。</p> <p>バス内での職員による鑑賞ポイント解説や現地での九州歴史資料館職員による展示解説を行い、船原古墳出土品の貴重さを感じてもらいました。</p> <p>また、歴史資料館では、特集展示を開催することで、郷土の歴史に対する市民の関心が高まりました。</p>		
<p>■特集展示</p> <p>・「立花山城と古賀の山城 ～立花山城と「女城督」間千代～ 3/1～20 歴史資料館ギャラリー 572 人来場</p> <p>【内容】立花山城の城督の地位を譲られた間千代姫、立花山城、古賀の山城について取り上げ、解説パネル・写真・図で紹介。</p>		
		


19	政策 1-3 つながりをもつる学ぶ機会の充実 施策 1-3-5 読む・学ぶ・調べる図書館活動の推進	
会計	款項目	事業費名称
一般	10 款 2 項 4 目	図書館運営事業費
大業に係る決算額		決算に関する資料
24,532,470 円		268 ページ
		担当課
		文化課
<p>令和 5 年度から学校図書館司書との連携のもと、古賀市立図書館の蔵書から、調べ学習や読みものなど授業に役立つ資料を集めてリスト化、「学習支援セット」として学校に貸し出し、授業の中でより学びを深めるよう支援しました。</p> <p>テーマ例：小学校では「戦争と平和の物語」「修学旅行と平和学習」「暮らしの中の和と洋」、中学校では「(保育授業で使用する)読み聞かせに向く絵本」など</p> <p>■令和5年度利用実績 小野小学校、古賀西小学校、古賀東中学校</p>		
		

20	政策 1-3 つながりをもつる学ぶ機会の充実 施策 1-3-6 学び合いを支える社会教育活動の活性化	
会計	款項目	事業費名称
一般	10 款 2 項 2 目	社会教育関連施設管理事業費
大業に係る決算額		決算に関する資料
111,596,881 円		260 ページ
		担当課
		生涯学習推進課
<p>生涯学習ゾーンを今後も地域の文化・芸術活動の発信拠点としてふさわしい施設にするために、駐車場不足の解消、施設の設備更新や改修などのリニューアルにより、安定的にサービスが提供できる施設をめざし、「リーパスプラザこがリニューアル基本計画」を策定しました。</p>		
 		

政策 1-4 人権と多様性の尊重 施策 1-4-1 すべての人権の尊重		
会計	款項目	事業費名称
一般	3 款 1 項 7 目	人権意識向上事業費
大事業に係る決算額		決算に関する資料
10,489,106 円		130 ページ
		担当課
		人権センター
<p>全国水平社創立 100 周年を記念して制作された、映画「破戒」の上映会を開催しました。</p> <p>市役所・リーパスプラザこが・サンコスモ古賀で行っていた人権標語の垂れ幕を、新たにサンリブ古賀店の協力を得て掲示しました。</p> <p>戦争で失われた命の大切さを考えるきっかけとしてひまわりの花フォトコンテストを実施し、2 名の受賞者を表彰しました。</p>		
  		

政策 1-4 人権と多様性の尊重 施策 1-4-1 すべての人権の尊重		
会計	款項目	事業費名称
一般	3 款 1 項 8 目	人権意識向上事業費
大事業に係る決算額		決算に関する資料
4,061,316 円		132 ページ
		担当課
		隣保館
<p>平成 28 年度に部落差別解消推進法が施行されましたが、インターネット上で個人や団体を誹謗中傷する書き込みなど、依然として差別事象が発生しているため、小中学生を中心とした未来を担う層が多く訪れるししぶ交流センターに屋外掲示板を設置し、人権啓発の強化を図りました。</p> <p>人権意識のさらなる向上を図るため、令和 5 年度については、屋外掲示板に、部落差別の解消につながる掲示を 1 回実施し、また、隣保館及び 3 集会所の屋内パネルにおいても、様々な差別の解消につながる掲示を 3 回実施しました。</p>		
		
ししぶ交流センターに設置した掲示板		

23 政策 1-4 人権と多様性の尊重 施策 1-4-2 性別にとらわれない多様な生き方の尊重						
会計	款項目	事業費名称				
一般	3 款 1 項 7 目	性の多様性尊重事業費				
大事業に係る決算額		決算に関する資料				
519,131 円		132 ページ				
		担当課				
		人権センター				
<p>誰もが自分らしく生きることができる社会をめざした取り組みとして「プライド月間」期間中に啓発を行いました。</p> <p>期 間：令和 5 年 6 月 1 日～6 月 30 日</p> <p>内 容：「OUT IN JAPAN」写真展 IN KOGA、特別トークの開催</p> <p>市役所庁舎にレインボーフラッグを掲示 のぼり旗、横断幕の設置 市民ホールに啓発パネルを展示</p>						
						
<p>パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度を運用する自治体と「制度の都市間相互利用に関する協定」を締結し連携強化に努めました。</p> <p>協定締結自治体数：7 自治体（令和 6 年 3 月末時点） （令和 5 年度に締結した自治体及び締結日）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>自治体名</th> <th>締結日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>合志市</td> <td>令和 5 年 8 月 8 日</td> </tr> </tbody> </table>			自治体名	締結日	合志市	令和 5 年 8 月 8 日
自治体名	締結日					
合志市	令和 5 年 8 月 8 日					

24 政策 1-4 人権と多様性の尊重 施策 1-4-3 ジェンダー平等の実現と男女共同参画の推進		
会計	款項目	事業費名称
一般	3 款 2 項 4 目	DV 対策事業費
大事業に係る決算額		決算に関する資料
5,670,550 円		156 ページ
		担当課
		子育て支援課
<p>DV 対策として、母子生活支援施設入所者の退所後の生活を支援するため、住居確保の際などに身元保証人が見つからない場合の保証会社への保険料を補助する事業を創設しました。令和 5 年度においては退所者がいなかったため、利用はありませんでした。</p> <p>令和 5 年度の市やこが女性ホットラインへの DV に関する相談は 86 件あり、状況に応じて関係機関へつなぐなどの対応を行いました。</p>		
		

25	政策 1-4 人権と多様性の尊重 施策 1-4-4 自分らしく暮らせる多文化共生の推進	
会計	款項目	事業費名称
一般	2 款 1 項 9 目	多文化共生推進事業費
大事業に係る決算額		決算に関する資料
1,593,108 円		84 ページ
		担当課
		まちづくり推進課

市民スタッフの皆さまと一緒に週 2 回開催している交流型日本語教室に運営マネージャーを導入し、これまで以上に学習する外国籍市民などのニーズにきめ細かく対応しました。また、対面や電話のほか、実情に合わせて SNS を活用するなど、相談体制の充実を図りました。子どもの頃から世界の国や地域の人たちと交流ができる原体験は、国際感覚を醸成するうえで非常に重要です。令和 5 年度は、タイからの小学生と古賀東小学校及び玄界高等学校との国際交流を実施しました。



26	政策 2-1 地域保健の推進と医療との連携促進 施策 2-1-1 人とまちの健康づくりの推進	
会計	款項目	事業費名称
一般 介保	4 款 1 項 3 目 3 款 2 項 1 目	健康づくり推進事業費
大事業に係る決算額		決算に関する資料
1,732,735 円 741,434 円		172 ページ 22 ページ
		担当課
		健康介護課

ヘルスアップぷらん（古賀市健康増進計画（第三次）・食育推進計画（第二次））の策定に合わせて、市民参画のワークショップにおいて「健康チャレンジ 10 か条」をより分かりやすく実行可能なフレーズに改訂しました。

また、市内小中学校の養護教諭、栄養教諭の意見を踏まえ、現代の子どもが抱える健康課題に対応した「子ども版健康チャレンジ 10 か条」を新たに作成しました。

健康チャレンジ10か条 一人ひとりが毎日実践・継続できる健康づくりの取組

健康チャレンジ10か条 リニューアル

- 第1条 朝ごはん食べて今日もスタート
- 第2条 毎食バランス良く一口目は野菜から
- 第3条 めざせ！おいしい薄味生活
- 第4条 たのしく歩こう古賀の道
- 第5条 すき間時間にちょこっと筋トレ
- 第6条 じっとしないでこまめに動こう
- 第7条 測って確認自分の健康
- 第8条 食べて應いて歯科検診
- 第9条 笑顔であいさつ楽しいおしゃべり
- 第10条 早起き早寝でぐっすり睡眠

子ども版健康チャレンジ10か条 NEW

- 第1条 朝ごはん食べて、やる気！元気！
- 第2条 毎日野菜を食べよう
- 第3条 「まごたちわやさしい」[※]でバランスのとれた食事を
- 第4条 歩いて（自転車で）学校に行こう
- 第5条 立腰で筋力アップ
- 第6条 毎日いい歯みがきをしよう
- 第7条 家族で決めようスマホやゲームの使い方
- 第8条 早寝、早起き、生活リズムを整えよう
- 第9条 笑顔であいさつ楽しいおしゃべり
- 第10条 悩みがあれば誰かに話そう

※1日の食事で、五、ごま、たまご、牛乳、わかめ等の海藻類、野菜、魚、しいたけ等のキノコ類、イモ類をそろえて食べること

27	政策 2-1 地域保健の推進と医療との連携促進 施策 2-1-1 人とまちの健康づくりの推進	
会計	款項目	事業費名称
一般	4 款 1 項 3 目	食育推進事業費
介保	3 款 2 項 1 目	
大事業に係る決算額		決算に関する資料
269,583 円		172 ページ
385,662 円		22 ページ
		担当課
		健康介護課

全世代型の健康づくりの一環として、産学官連携プロジェクトにより朝食の習慣化やバランスの取れた食事摂取をめざして、各種イベントや情報発信を行いました。

また、食生活改善推進会と連携し、子どもクッキングや男性の料理教室、学校での減塩パネル展示、コスモス広場での健康レシピの配置など、市民の食育推進を図りました。



商業施設での古賀式 私の朝プロジェクト イベント



健康レシピカード

28	政策 2-1 地域保健の推進と医療との連携促進 施策 2-1-2 保健の充実と医療連携	
会計	款項目	事業費名称
一般	4 款 1 項 5 目	疾病予防・早期発見事業費
国保	4 款 1 項 1 目	
大事業に係る決算額		決算に関する資料
36,427,195 円		180 ページ
38,710,333 円		16 ページ
		担当課
		健康介護課

特定健診やがん検診などの受診率向上を図るため、毎年の集団健診の予約手続きを簡略化する「おまかせ予約」を試験的に導入しました。

～ 特定健診受診者限定 ～



毎年の予約が面倒…。
毎年自動で予約できないかな…？

そんなあなたに朗報です。
集団健診のおまかせ予約を実施しています。

おまかせ予約とは…？

集団健診受診時に、健診の時期、項目等の希望を確認し、それに応じて健診を予約して、翌年4月ごろにはがきでご案内するサービスです。

おまかせ予約の流れ

- STEP 1 集団健診受診日に配布される予約票に希望内容を記入し提出
- STEP 2 翌年の4月ごろにはがきで日程をご連絡



※日程確定後の変更はお電話にて受付可能です。

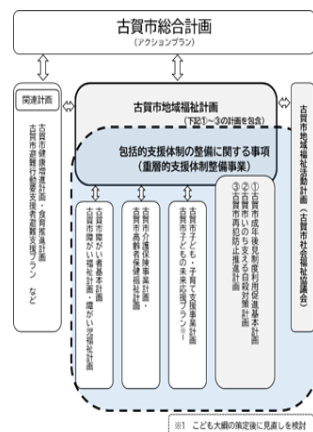
29	政策 2-1 地域保健の推進と医療との連携促進 施策 2-1-2 保健の充実と医療連携		
会計	款項目	事業費名称	
一般	4 款 1 項 4 目	感染症対策事業費	
大事業に係る決算額		決算に関する資料	担当課
245,327,520 円		174 ページ	健康介護課
<p>新型コロナワクチンについて関係機関と連携し、個別医療機関での接種体制を構築、初回接種（1・2 回目接種）及び追加接種（3・4・5・6・7 回目接種）、小児・乳幼児接種を実施しました。</p> <p>○接種実績</p> <p>・個別医療機関接種：24,580 人（内、6 歳未満：46 人）</p>			

30	政策 2-2 介護予防と高齢者福祉の推進 施策 2-2-2 最期まで尊厳のある暮らしを続けるための支援の充実		
会計	款項目	事業費名称	
介保	3 款 3 項 1 目	地域包括支援センター運営事業費	
大事業に係る決算額		決算に関する資料	担当課
88,912,431 円		26 ページ	福祉課
<p>令和 3 年度から市全域を担当する基幹型地域包括支援センターと市内 3 か所の圏域地域包括支援センターの設置により、高齢者支援に対する運営体制を強化しました。</p> <p>また、各地域での活動や民生委員・児童委員協議会定例会への参加を通じて顔の見える関係づくりを進めた結果もあり、令和 5 年度の相談件数は 2,327 件と前年度より 1.2 倍増加しました。</p>			

31	政策 2-2 介護予防と高齢者福祉の推進 施策 2-2-2 最期まで尊厳のある暮らしを続けるための支援の充実	
会計	款項目	事業費名称
介保	3 款 3 項 1 目 3 款 3 項 2 目	認知症総合支援事業費
大事業に係る決算額		決算に関する資料
1,254,213 円 411,854 円		28 ページ 30 ページ
		担当課
		福祉課

超高齢化により増加する認知症の人との共生と認知症予防を推進するため、認知症の進行状況に応じた症状やサービスを示した「認知症ケアパス」をより分かりやすい内容に見直すとともに、認知症地域支援推進員による周知啓発を行い、理解促進を図りました。

また、判断能力が低下した人の権利擁護支援の体制整備を図るため、新たに成年後見制度利用促進基本計画を第 3 期古賀市地域福祉計画・第 6 次古賀市地域福祉活動計画に包含して策定しました。





32	政策 2-3 障がい者福祉の推進 施策 2-3-2 自分らしさを発揮できる社会参加の促進	
会計	款項目	事業費名称
一般	3 款 1 項 5 目	障がい者就労促進事業費
大事業に係る決算額		決算に関する資料
9,574 円		128 ページ
		担当課
		福祉課

障がい福祉サービス事業所などと連携し、障がいのある人の就労促進に向けた模擬合同面接会を開催しました。座学や模擬面接を通して、面接時のマナーを学ぶとともに、実際の面接の雰囲気を経験していただく機会となりました。

また、障がい者の就労支援を行う事業所職員のスキルアップを図るため、「福祉での発達障がい支援」をテーマにしたセミナーも開催しました。



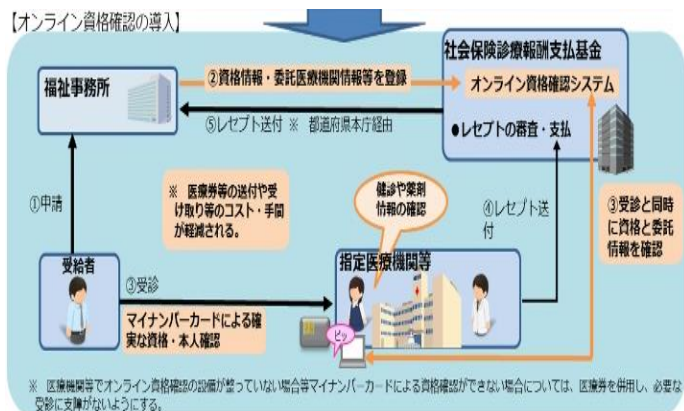
33	政策 2-4 地域福祉の推進と包括的支援の充実 施策 2-4-1 困ったときに頼り合える地域福祉の推進		
会計	款項目	事業費名称	
一般	2 款 1 項 1 目	恒久平和希求事業費	
大事業に係る決算額		決算に関する資料	担当課
60,000 円		56 ページ	総務課
<p>・恒久平和に向けた取組として、原爆投下日、終戦記念日に合わせた黙とうの呼びかけ及び「原爆の絵」展を開催し、市民への周知啓発を図りました。(総務課)</p> <p>【期間】令和5年7月27日～8月10日</p> <p>【場所】古賀市役所 第二庁舎 2階 市民ホール</p> <p>・特攻で亡くなった古賀出身の安部正也大尉の関係者から聞き取りを行い、紹介パネル・提供資料などの展示を通じて、戦争が生活に与える影響について、市民と共有しました。(文化課)</p> <p>特集展示「戦争とくらし～どこで戦い、どこで亡くなったか～」</p> <p>【期間】令和5年12月1日～17日</p> <p>【場所】リーパスプラザこが 歴史資料館 ギャラリー</p> <p>【観覧者数】延べ308人</p>			
			

34	政策 2-4 地域福祉の推進と包括的支援の充実 施策 2-4-2 自立支援の推進と包括的支援の充実		
会計	款項目	事業費名称	
一般	2 款 1 項 10 目	被災者支援事業費	
大事業に係る決算額		決算に関する資料	担当課
127,900 円		88 ページ	総務課
<p>令和6年能登半島地震で被災された方への支援として、古賀市指定の住宅に入居された世帯に対して生活支援金による支援をしました。</p> <p>○支援内容 古賀市指定の住宅に避難された能登半島地震の被災者に対して一世帯当たり5万円、世帯員一人当たり1万円を支給</p> <p>○申請件数 0件</p>			

35	政策 2-4 地域福祉の推進と包括的支援の充実 施策 2-4-2 自立支援の推進と包括的支援の充実	
会計	款項目	事業費名称
一般	3 款 3 項 1 目	生活保護事業費
大事業に係る決算額		決算に関する資料
1, 113, 099, 196 円		162 ページ
		担当課
		福祉課

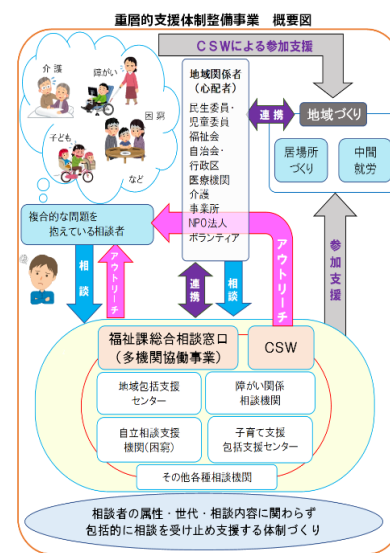
医療費の適正化や利用者の利便性向上を図るため、国の示すスケジュールに基づき、令和 6 年 3 月に生活保護の医療扶助にマイナンバーカードによる資格確認を導入しました。これにより、今後は被保護者がマイナンバーカードを提示して受診することで、医療機関はオンラインでの資格確認が可能になります。

また、受診・調剤歴などの確認もできるため、医療機関では重複処方や頻回受診の可能性を判断しやすくなり、被保護者の薬剤などの使用過多による健康被害の削減にもつながるなど、被保護者に対して適切な医療が提供され、医療費の適正化が図られる体制が整いました。



36	政策 2-4 地域福祉の推進と包括的支援の充実 施策 2-4-2 自立支援の推進と包括的支援の充実	
会計	款項目	事業費名称
一般	3 款 1 項 1 目	包括的自立支援事業費
大事業に係る決算額		決算に関する資料
35, 379, 618 円		114 ページ
		担当課
		福祉課

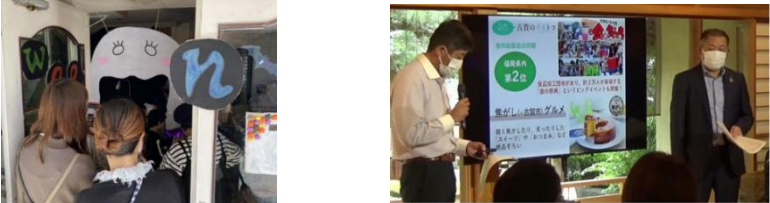
第 3 期古賀市地域福祉計画・第 6 次古賀市地域福祉活動計画の中で、重層的支援体制整備事業の取組を記載しました。また、生活困窮者自立支援事業のひとつである一時生活支援事業を開始し、住居を失った又はそのおそれのある人に対して一時的に宿泊場所や食事を提供し、自立した生活に向けて支援しました（実績 1 件）。このほか、家計の見直し等を行う相談員の勤務日数を増やすことで体制を強化し、生活困窮世帯に対して寄り添った相談支援を行いました。



一時生活支援事業



家計改善
支援員

政策 3-1 商工業・観光の活性化			
施策 3-1-1 活気とにぎわいを創り出す商工業の活性化			
会計	款項目	事業費名称	
一般	2 款 1 項 9 目 7 款 1 項 2 目	商工業活性化推進事業費	
大事業に係る決算額		決算に関する資料	担当課
704,519,156 円 18,619,637 円		82 ページ 208 ページ	商工政策課
<p>西口エリア活性化ビジョンを基に、まちづくり団体である（株）ヨンダブルディーによるテナントミックス型交流拠点施設として、まちの食交場「るるる」がグランドオープンしました。西口エリア内の店舗による様々なイベントをはじめ、古賀竟成館高等学校との連携事業で同エリア内の店舗と連携協力して実施したハロウィンイベントなど、市内外の多くの人々が交流し、にぎわいの創出につながりました。</p> <p>キャッシュレス決済の普及を促進し、市内の消費喚起を図るため、市商工会による古賀市キャッシュレス商品券「こが pay」1 億円分（プレミアム率 20%）の販売を支援しました。</p> <p>ふるさと応援寄附制度を活用し、返礼品の提供による市内事業者の販路拡大、収益向上を図りました。新規返礼品の展開や宣伝広告の強化により、令和 5 年度の寄附額は過去最高となる約 12 億円となりました。</p>			
			
連携事業（ハロウィンイベント） 市内事業者との協働による古賀市の特産品等 PR			

政策 3-1 商工業・観光の活性化													
施策 3-1-1 活気とにぎわいを創り出す商工業の活性化													
会計	款項目	事業費名称											
一般	7 款 1 項 2 目	経営支援事業費											
大事業に係る決算額		決算に関する資料	担当課										
61,924,613 円		210 ページ	商工政策課										
<p>市内中小企業者が金融機関からの借入れを容易にできるよう、市商工会や金融機関と連携協力して制度融資を行いました。また、新規創業者が市内で事業を行う際に必要となる経費の一部を補助するなど財政支援を行い、市内企業の経済活動を促進し、市内における産業の振興を図りました。</p>													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中小企業小口事業資金融資</td> <td>12 件</td> </tr> <tr> <td>中小企業融資保証料補助</td> <td>8 件</td> </tr> <tr> <td>創業支援事業補助</td> <td>6 件</td> </tr> <tr> <td>創業支援事業利子補給補助</td> <td>0 件</td> </tr> </tbody> </table>				事業名	件数	中小企業小口事業資金融資	12 件	中小企業融資保証料補助	8 件	創業支援事業補助	6 件	創業支援事業利子補給補助	0 件
事業名	件数												
中小企業小口事業資金融資	12 件												
中小企業融資保証料補助	8 件												
創業支援事業補助	6 件												
創業支援事業利子補給補助	0 件												

政策 3-1 商工業・観光の活性化 施策 3-1-2 企業立地の促進と新たな雇用の創出		
会計	款項目	事業費名称
一般	7 款 1 項 2 目	企業立地促進事業費
大事業に係る決算額		決算に関する資料
828,308 円		210 ページ
		担当課
		商工政策課
<p>新たな工業団地の創出に向けた新原高木地区の開発において必要となる農村地域産業導入実施計画について、県の担当部署や地元関係者との継続的な協議の上で計画書を策定し、県の同意を得ました。</p> <p>また、新規立地企業における市民の雇用を拡大するため、市企業立地促進条例に基づく雇用奨励金を交付しました（1社、6名）。</p>		
		

政策 3-1 商工業・観光の活性化 施策 3-1-2 企業立地の促進と新たな雇用の創出																		
会計	款項目	事業費名称																
一般	5 款 1 項 1 目	職業紹介事業費																
大事業に係る決算額		決算に関する資料																
8,314,418 円		190 ページ																
		担当課																
		商工政策課																
<p>国、県などと連携しながら、無料職業紹介所において市内企業への訪問等により企業が求める人材に関する情報収集を行い、市内を中心とした求職者に対する情報提供や企業とのマッチングなど、きめ細かな支援を実施し、市民の雇用拡大を図りました。</p>																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>令和 5 年度事業実績</th> <th>件数等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規求職登録者数</td> <td>449 名</td> </tr> <tr> <td>求職者相談件数</td> <td>1,683 件</td> </tr> <tr> <td>企業等への紹介件数</td> <td>528 件</td> </tr> <tr> <td>就職決定者数</td> <td>249 名</td> </tr> <tr> <td>新規求人件数</td> <td>1,344 件</td> </tr> <tr> <td>新規求人者数</td> <td>2,710 名</td> </tr> <tr> <td>パソコン技能習得支援補助</td> <td>0 件</td> </tr> </tbody> </table>			令和 5 年度事業実績	件数等	新規求職登録者数	449 名	求職者相談件数	1,683 件	企業等への紹介件数	528 件	就職決定者数	249 名	新規求人件数	1,344 件	新規求人者数	2,710 名	パソコン技能習得支援補助	0 件
令和 5 年度事業実績	件数等																	
新規求職登録者数	449 名																	
求職者相談件数	1,683 件																	
企業等への紹介件数	528 件																	
就職決定者数	249 名																	
新規求人件数	1,344 件																	
新規求人者数	2,710 名																	
パソコン技能習得支援補助	0 件																	

41	政策 3-1 商工業・観光の活性化 施策 3-1-2 企業立地の促進と新たな雇用の創出	
	会計	事業費名称
一般	2 款 1 項 6 目	インキュベーション促進事業費
大事業に係る決算額		決算に関する資料
73,573,487 円		76 ページ
		担当課
		経営戦略課

インキュベーション施設「快生館」の運営を継続することで、新たな働き方の推進やサテライトオフィスなどの誘致を促進するとともに、運営企業や進出企業などの多くの主体と連携し、地域課題解決をテーマにした実証事業やワーケーションプログラム、企業合宿、起業家育成のためのセミナー開催、多様な人材のネットワーク形成、情報発信の強化などに取り組むことで、進出企業の定着や地域活性化を図りました。

	令和 3 年度末	令和 4 年度末	令和 5 年度末
快生館入居企業等数	4	9	17



42	政策 3-1 商工業・観光の活性化 施策 3-1-3 魅力あふれる観光の活性化	
	会計	事業費名称
一般	7 款 1 項 3 目	観光客誘致促進事業費
大事業に係る決算額		決算に関する資料
10,599,870 円		210 ページ
		担当課
		商工政策課

一般社団法人古賀市観光協会がコスモス館に移転したことにより、コスモス広場利用組合との連携協力を深め、観光物産情報発信の機能を強化しました。

サイクルツーリズムへの関心の高まりを捉え、古賀グリーンパーク、薬王寺水辺公園、小野公園にサイクルスタンドを各 1 台設置しました。また、本市のさまざまな観光資源を組み合わせたバスツアーのモニタリングやバスツアーを初めて実施し、本市の魅力を PR しました。さらに、市内のおすすめモデルコースなどを掲載した「古賀おでかけガイド」や、市内に点在している観光資源をつないで 8 コースを設定した「古賀巡ルート」、市内の強みである食品加工団地をはじめとする「工業団地マップ」を作成し、広く市内外に本市の観光資源の魅力を PR して誘客促進を図りました。



古賀おでかけガイド




古賀巡ルート




工業団地マップ

43	政策 3-2 農林業の振興 施策 3-2-1 農地の保全と有効活用		
	会計	款項目	事業費名称
一般	6 款 1 項 4 目	農業基盤整備促進事業費	
大事業に係る決算額		決算に関する資料	担当課
10,461,000 円		202 ページ	農林振興課
<p>県営薦野清滝地区土地改良事業について事業計画書を国へ申請し、6月16日に事業採択されたことから、県において実施設計業務を発注しました。</p>			
			
<p>基盤整備後の小野南部地区における麦の作付状況</p>			

44	政策 3-2 農林業の振興 施策 3-2-2 持続可能な農業経営の推進		
	会計	款項目	事業費名称
一般	6 款 1 項 3 目	農業者経営安定支援事業費	
大事業に係る決算額		決算に関する資料	担当課
90,701,110 円		194 ページ	農林振興課
<p>農作業の省力化・軽労化をめざし、小野小学校区において、スマート技術を活用した草刈機や農業用センサの試行実証を実施しました。併せて、生活支援策の検討として、小野小学校区内の公民館、老人ホームと農産物直売所を結んでスマートグラスを活用した買い物代行の実証を行いました。</p>			
			
<p>スマート農業技術を活用したリモコン草刈機の実証</p>			

45 政策 3-2 農林業の振興 施策 3-2-3 森林を守る林業の振興			
会計	款項目	事業費名称	
一般	6 款 2 項 1 目	林道施設管理事業費	
大事業に係る決算額		決算に関する資料	担当課
14,177,900 円		204 ページ	農林振興課
林道施設維持のため、林道施設点検・保全計画に基づき、林道長葉山 1 号線 1 号橋及び 2 号橋の補修を行いました。			
			
長葉山 1 号線 1 号橋			
			
長葉山 1 号線 2 号橋			

46 政策 4-1 良好な都市環境の形成 施策 4-1-1 地域特性に応じた土地利用の推進			
会計	款項目	事業費名称	
一般	8 款 4 項 1 目	都市計画管理事務費	
大事業に係る決算額		決算に関する資料	担当課
148,956 円		222 ページ	都市整備課
<p>今在家地区では、土地区画整理組合の設立が認可され、組合施行による土地区画整理事業が始まりました。</p> <p>青柳大内田地区、青柳釜田地区では、民間開発による造成工事が進捗しました。</p> <p>新原高木地区では、県協議、古賀市都市計画審議会の審議を経て、地区計画を決定しました。</p> <p>青柳迎田地区では工業団地形成に向けて、また、新久保南地区では住宅地・商業地形成に向けて土地利用転換を図るため、市街化区域への編入手続きに着手しました。</p> <p>高田地区では、コミュニティ活力の活性化を図るため、県開発許可条例による建築規制の緩和を図る区域指定に向けて地元協議、県協議を行いました。</p>			
			
造成中の青柳大内田地区			

政策 4-1 良好な都市環境の形成 施策 4-1-1 地域特性に応じた土地利用の推進		
会計	款項目	事業費名称
一般	8 款 4 項 1 目	古賀駅周辺整備事業費
大事業に係る決算額		決算に関する資料
4,345,000 円		222 ページ
		担当課
		都市整備課
<p>まちづくりのための事業の財源として見込む国からの補助金などを有利に確保するため、また、都市基盤を有効に活用するため、公共交通軸や防災の視点などから立地適正化計画の策定に着手しました。</p> <p>【立地適正化計画制度のイメージ】</p> <p>拠点間を結ぶ交通サービスの充実</p> <p>乗換拠点の整備</p> <p>都市計画区域</p> <p>市街化区域</p> <p>都市機能誘導区域</p> <p>医療・福祉・商業等の生活サービスを誘導するエリア</p> <p>居住誘導区域</p> <p>居住を誘導し人口密度を維持するエリア</p>		

政策 4-1 良好な都市環境の形成 施策 4-1-1 地域特性に応じた土地利用の推進		
会計	款項目	事業費名称
一般	8 款 4 項 1 目	古賀駅周辺整備事業費
大事業に係る決算額		決算に関する資料
53,314,664 円		222 ページ
		担当課
		古賀駅周辺開発推進課
<p>東口エリアは、東口周辺道路の整備方針についてとりまとめを行い、公表しました。</p> <p>西口エリアは、駅前広場などの整備に向けた検討に着手し、まちなかの回遊性向上に向け、臨時交通規制を行う「交通社会実験」と、魅力的なまちかど空間づくりや地域の団体と連携したイベントを行う「沿道利活用社会実験」を実施しました。</p> <p>【東口エリア】</p> <p>【西口エリア】</p>		

49	政策 4-1 良好な都市環境の形成 施策 4-1-1 地域特性に応じた土地利用の推進		
会計	款項目	事業費名称	
一般	8 款 2 項 3 目	千鳥駅東口周辺整備事業費	
大事業に係る決算額		決算に関する資料	担当課
45,588,400 円		218 ページ	建設課

JR 千鳥駅東口のアクセス機能を強化するため、県や警察等関係機関と協議を行いロータリー及び前面道路（浜山 1 号線）の整備を進めます。

令和 5 年度はロータリーに接続する前面道路の整備を実施しました。

- ・ 令和 6 年度 JR 千鳥駅前ロータリー部の整備
- ・ 令和 7 年度 供用開始予定



整備が完了した「浜山 1 号線」

50	政策 4-1 良好な都市環境の形成 施策 4-1-3 快適な道路網の整備		
会計	款項目	事業費名称	
一般	8 款 2 項 3 目	道路改良事業費	
大事業に係る決算額		決算に関する資料	担当課
180,133,089 円		218 ページ	建設課

西鉄宮地岳線跡地は、道路や遊歩道などの空間形成に向け、中川区（整備延長 L=224m）における整備を行いました。併せて、歩行者の安全確保を地元から強く要望されていた古賀南区において、工事説明会を行うとともに詳細設計を実施しました。



整備された道路の状況（中川区）

51 政策 4-1 良好な都市環境の形成 施策 4-1-3 快適な道路網の整備			
会計	款項目	事業費名称	
一般	8 款 2 項 3 目	幹線道路整備事業費	
	8 款 4 項 3 目		
大事業に係る決算額		決算に関する資料	担当課
2,500,000 円		218 ページ	建設課
38,973,118 円		228 ページ	
花見佐谷線の道路拡幅に向けて用地測量及び詳細設計などを実施しました。			
			
<p>改良が望まれる花見佐谷線</p> 			

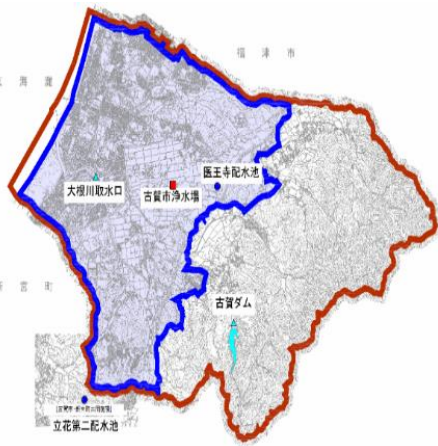
52 政策 4-1 良好な都市環境の形成 施策 4-1-4 安全・安心な水道サービスの持続			
会計	款項目	事業費名称	
水道	-	水道事業経営管理事務費	
大事業に係る決算額		決算に関する資料	担当課
-		-	上下水道課
古賀市上下水道事業経営等審議会を開催し、上下水道事業の経営や今後の料金等のあり方について審議を行いました。			
第 1 回			
日時：令和 5 年 6 月 29 日（木）			
内容：水道事業の経営や今後の料金等のあり方についての諮問 水道事業の現状について 加入金について			
第 2 回			
日時：令和 5 年 7 月 27 日（木）			
内容：下水道事業の現状について			
第 3 回			
日時：令和 5 年 8 月 28 日（月）			
内容：下水道使用料の料金算定について			
第 4 回			
日時：令和 5 年 10 月 2 日（月）			
内容：下水道使用料の料金算定について 上下水道事業の経営や今後の料金等のあり方について（答申）			

政策 4-1 良好な都市環境の形成 施策 4-1-4 安全・安心な水道サービスの持続					
会計	款項目	事業費名称			
水道	-	配水管管理事業費			
大事業に係る決算額		決算に関する資料			
-		-			
		担当課			
		上下水道課			
令和5年度管路更新延長：2,844.7m					
	H31	R2	R3	R4	R5
更新延長	2,215.3m	3,455.7m	3,018.8m	2,268.6m	2,844.7m
更新率	1.07%	1.93%	1.46%	1.09%	1.36%
老朽化率	21.43%	22.74%	24.44%	24.98%	24.63%
有収率	98.97%	97.48%	97.75%	98.43%	98.00%

配水管については老朽化率が増加傾向であるのに対し、有収率は高い値を推移しています。

これは老朽管の状態を調査、分析し更新管路の優先順位を定め事業を推進してきた成果です。

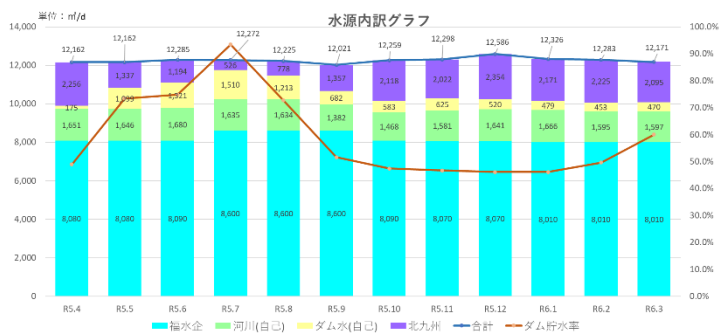
急激な更新事業費用の増加は水道事業の経営安定化に影響を及ぼす可能性があるため、費用の平準化を視野に入れ事業計画の策定を行います。



政策 4-1 良好な都市環境の形成 施策 4-1-4 安全・安心な水道サービスの持続					
会計	款項目	事業費名称			
水道	-	水源・取水施設管理事業費			
大事業に係る決算額		決算に関する資料			
-		-			
		担当課			
		上下水道課			
配水量ならび各水源(1日当たり) (単位：m³)					
	H31	R2	R3	R4	R5
総配水量	12,117	12,493	12,487	12,314	12,255
自己水源	3,465	3,111	2,943	1,884	2,362
他団体	8,652	9,382	9,544	10,430	9,893

水源管理について、自己水源能力(最大4,400m³/日)に対し令和5年度の取水実績は2,362m³/日(能力比53.7%)であり、近年は減少傾向となっています。古賀ダムの貯水量減に伴う取水制限が要因です。

自己水源の不足分を他団体(福岡地区水道企業団、北九州市)から補うことにより安定した水量を確保することができました。



55	政策 4-1 良好な都市環境の形成 施策 4-1-5 下水道の整備と経営基盤の強化	
会計	款項目	事業費名称
下水	-	下水道事業経営改善推進事業費
大事業に係る決算額		決算に関する資料
-		上下水道課

経営基盤の強化を図るため、下水道使用料改定に関する研修の受講、公認会計士への相談業務の委託、決算統計の作成や経営分析などを実施しました。

また、下水道使用料の適正化に向けた検討を行うため、古賀市上下水道経営等審議会へ諮問した結果、現行使用料と比べ約10%の増額改定が必要との答申を受けました。答申に合わせて古賀市下水道条例及び古賀市農業集落排水処理施設条例などを改正しました。



広報こが（令和6年6月号）

56	政策 4-1 良好な都市環境の形成 施策 4-1-5 下水道の整備と経営基盤の強化	
会計	款項目	事業費名称
下水	-	下水道施設管理事業費
大事業に係る決算額		決算に関する資料
-		上下水道課

未普及対策として、青柳污水管渠工事を実施しました。

下水道施設の老朽化対策として、繰越工事となっていた「令和4年度古賀水再生センターNo.3 最初沈殿池防食工事」のほか、公共污水枳及び人孔蓋の更新、千鳥一丁目マンホールポンプ場の污水ポンプの更新、古賀水再生センターの機械及び電気設備の更新工事を実施しました。

雨水対策については、集中豪雨などによる内水浸水被害を防止するため、「内水浸水想定区域図」を策定しました。



令和4年度 古賀水再生センターNo.3 最初沈殿池防食工事

57	政策 4-2 持続可能な公共交通の実現 施策 4-2-1 持続可能な公共交通ネットワークの確立	
会計	款項目	事業費名称
一般	2 款 1 項 1 目	公共交通維持・確保事業費
大事業に係る決算額		決算に関する資料
121,152,071 円		56 ページ
		担当課
		経営戦略課

公共交通ネットワークを維持・確保するため、西鉄バス古賀市内線の運行及び地域移動サポートの支援やコガバスの運行、70 歳おでかけバス事業を継続するとともに、AI オンデマンドバス「のるーと古賀」のミーティングポイント増設を行い、公共交通の利便性向上に努めました。

また、障がい者や高齢者、妊産婦、子ども、国内外からの旅行者など、誰もが利用しやすい公共交通をめざし、タクシー事業者のユニバーサルデザインタクシー車両 4 台の導入を支援しました。

2024年2月1日からの 変更内容

乗降場所が増えます！ 2024年1月29日(木) 予約受付開始

ミーティングポイントを12箇所増設します。
詳しい内容は裏面乗降場所マップをご確認ください。

⑩ みあげ交差公園前	⑲ まちの夜交差するある (西向き)
⑪ こでまり小児科クリニック前 (西向き)	⑳ まちの夜交差するある (東向き)
⑫ こでまり小児科クリニック前 (東向き)	㉑ 産科・婦人科 聖徳病院
⑬ 庄公民館前 (公民館正面)	㉒ 市職が公民館
⑭ 庄公民館前 (東向き)	㉓ 直野公民館
⑮ サンコスモ吉原	㉔ 西部

ししぶ駅西口、ししぶ駅東口がエリア内になります！

エリア内区間の運賃は大人200円
障がい者・小学生・高齢者は100円です。
(※高齢者は50歳以上1人につき2人まで有効)

予約 【乗車予約専用】
☎ 0263-31-5548

【お問い合わせ先】
古賀市経営戦略課
☎ 092-942-1113



58	政策 4-2 持続可能な公共交通の実現 施策 4-2-1 持続可能な公共交通ネットワークの確立	
会計	款項目	事業費名称
一般	2 款 1 項 1 目	公共交通利便増進事業費
大事業に係る決算額		決算に関する資料
2,866,347 円		56 ページ
		担当課
		経営戦略課

新型コロナウイルス感染症などの予防策として、妊産婦や多胎児の保護者が安心して移動できるよう、タクシーチケットを配付しました。

対象の 492 名へ 1 冊 20,000 円分のチケットを交付、うち 3,635 枚が使用され、新型コロナウイルス感染症の影響、燃料費の高騰などにより厳しい経営状況にあるタクシー事業者の支援にもつながることで、市民の通勤、通学、買い物、通院など、日常生活の移動手段として必要不可欠な地域公共交通の維持・確保の一助となりました。

古賀市にお住まいの方、
母子手帳を交付された方、出産された方へ
「タクシーチケット」をお渡しします

妊娠継続検査や胎動確認の頻回、産前産後用品の購入など、安心して外出ができるよう、古賀市にお住まいの母子手帳を交付された方、出産された方へタクシーチケットをお渡しします。
ご本人が利用できない場合など、ご家族の方やご近所の方にご利用いただいても構いません。日頃の移動に、ぜひご活用ください。
※妊娠継続検査のご利用は可能ですが、タクシー配車を保証するものではありません。

利用方法

1

下記のタクシー事業者に配車を依頼します

2

タクシーチケットを使い智恵をお返ください

3

500
+

このチケットでは、おつりは返しません。必要は多数のチケットを申し、不足分を現金でお支払いください

利用可能なタクシー事業者



株式会社古賀タクシー ☎: 092-942-3631
花野タクシー有限公司 ☎: 0120-11-3432


使用可能な期間は
交付月から
2年間です

※令和5年2月1日以降に、妊娠の届出をされた方、出産された方全費を対象に配付しています。
チケットの交付は、妊娠の届出後、届出后即可です。



お問い合わせ先
古賀市 経営戦略課 ☎: 092-942-1113



59 政策 4-3 命と暮らしを守る対策の推進 施策 4-3-2 命を守る防災・危機管理の推進			
会計	款項目	事業費名称	
一般	9 款 1 項 2 目 9 款 1 項 4 目	防災体制強化事業費	
大事業に係る決算額		決算に関する資料	担当課
56,256,574 円		232 ページ	総務課
2,004,815 円		236 ページ	
<p>令和 7 年度以降の消防団再編に向けて、現役消防団、消防団 0B 会、粕屋北部消防本部など消防団関係者 19 人で構成する懇話会を 4 回開催しました。</p> <p>懇話会では、消防団の分団再編案、機能別団員制度の導入など消防団の持続可能性を高める方策を検討しました。</p> <p>また、災害時の避難体制の強化を図るため、令和 5 年 7 月に古賀市地域防災計画を改訂しました。</p> <p>浸水想定区域や土砂災害警戒区域内の高齢者施設・保育園・小中学校などの管理者などに避難確保計画作成・避難訓練実施の義務化について周知し、助言するなど必要な支援に取り組みました。(対象施設は、洪水浸水想定区域内の施設 45 か所、急傾斜地の崩壊 14 か所、土石流 2 か所、高潮 6 か所)</p>			



60 政策 4-4 環境の保全と継承 施策 4-4-1 快適な生活環境の保全			
会計	款項目	事業費名称	
一般	4 款 2 項 1 目	環境美化推進事業費	
大事業に係る決算額		決算に関する資料	担当課
3,201,376 円		182 ページ	環境課
<p>ラブアース・クリーンアップや大根川一斉清掃をはじめとした地域や海岸、河川などにおける自発的な美化活動に対し、ごみの回収などの支援を行いました。</p> <p>また、環境保全パトロール（概ね週 4 日）や夜間パトロール（年間 44 回）による不法投棄パトロールの実施により、快適な生活環境の保全の推進を図りました。</p>			
			
【ラブアース・クリーンアップ】		【大根川一斉清掃】	

政策 4-4 環境の保全と継承 施策 4-4-2 資源を有効に活用する循環型社会の形成		
会計	款項目	事業費名称
一般	4 款 2 項 1 目 4 款 2 項 2 目	循環型社会形成推進事業費
大事业に係る決算額		決算に関する資料 担当課
9,244,548 円		182 ページ
360,195,488 円		184 ページ
<p>ごみの収集経路上にないご家庭で、近くの集積所まで持ち出すことが困難な要介護者や障がいのある人のごみ出しを支援するとともに、ごみが出ていなかった場合の安否確認も同時に行う「ふれあい収集」（実績：1 世帯）を実施しました。</p> <p>資源を有効に活用する循環型社会の形成に向け、外国籍市民を対象としたごみの捨て方講座（開催数：1 回）をはじめとした各種講座を開催し、4R の推進を図りました。</p>		
 <p>【外国籍市民を対象としたごみの捨て方講座】</p>		


政策 4-4 環境の保全と継承 施策 4-4-2 資源を有効に活用する循環型社会の形成		
会計	款項目	事業費名称
一般	4 款 2 項 3 目	し尿処理事業費
大事业に係る決算額		決算に関する資料 担当課
1,688,372,871 円		186 ページ
<p>汚泥再生処理センター（古賀市海津木苑）建設工事については、施工業者及び工事監理業者と全体会議を毎月行い、工事を円滑に進め、令和 5 年 12 月に供用開始しました。</p>		
 <p>【施設外観】</p>		
 <p>【3 階研修室】</p>		
 <p>【中央監視室】</p>		
 <p>【水質試験室】</p>		
<p>次年度以降の解体工事を行うにあたって仮事務所解体設計業務委託及び既施設解体設計を行いました。</p>		

政策 4-4 環境の保全と継承		
施策 4-4-3 環境と人と動物のよりよい関係を築く動物愛護の推進		
会計	款項目	事業費名称
一般	4 款 1 項 2 目	人と動物との共生社会推進事業費
大事業に係る決算額		決算に関する資料
1,867,565 円		168 ページ
		担当課
		環境課
<p>令和 5 年 3 月 18 日に表明した「ワンヘルス宣言」の理念に基づき、市内の小中学生とその保護者を対象として親子で学ぶ環境講座「親子で学ぶワンヘルスと馬のふれあい体験」を開催しました。ワンヘルスの基本方針などについて説明した後、福岡県馬術競技場で馬とのふれあい体験を行い、人と動物のかかわり方について体験を通して学ぶことができる講座となりました。(参加者：親子 7 組 20 名)</p> <p>また地域で飼い主のいない猫の適正な管理・不妊去勢手術を行う「地域猫活動」を推進しました。(登録団体数：79 団体) さらに、その活動の財源を確保するため、クラウドファンディングを実施し、不妊去勢手術や譲渡検査などの費用助成による支援の強化を図りました。</p> <p>(クラウドファンディング寄付額：133 万円)</p> <p>(R5 補助実績：去勢手術 25 頭、不妊手術 44 頭、譲渡検査等 20 頭)</p>		
		
【親子で学ぶワンヘルスと馬のふれあい体験】		【クラウドファンディングチラシ】

政策 4-4 環境の保全と継承		
施策 4-4-4 豊かな恵みを次世代へ引き継ぐ自然環境と生物多様性の保全		
会計	款項目	事業費名称
一般	4 款 1 項 2 目	自然共生社会推進事業費
大事業に係る決算額		決算に関する資料
1,829,362 円		168 ページ
		担当課
		環境課
<p>生物多様性の保全と持続可能な利用を学び、行動できる人材の育成をめざし、市内小学校（4 校）の 4 年生やあすなる教室の児童・生徒を対象に身近な環境教育の場である「大根川親水空間」及び「千鳥ヶ池」での生き物観察会を開催しました。(開催数：5 回)</p> <p>また近年、市内での確認が増加している特定外来生物のアライグマの生息調査と捕獲駆除に取り組み、外来種に関する理解を促進するとともに、生物多様性の保全の推進を図りました。</p> <p>(講習会開催数：5 回、受講者数：41 名)</p>		
		
【「大根川親水空間」での生き物観察会】		【アライグマ防除講習会】


政策 4-4 環境の保全と継承		
施策 4-4-5 私たちにできる地球温暖化の防止		
会計	款項目	事業費名称
一般	4 款 1 項 2 目	地球温暖化防止対策推進事業費
大事業に係る決算額		決算に関する資料
11,733,765 円		168 ページ
		担当課
		環境課
<p>市役所やイベント会場において「うちエコ診断会」を開催し、市民の省エネルギー意識の向上を図るとともに、家庭から排出される温室効果ガス削減に向けた行動を促進しました。(受診者数：158 人)</p> <p>またゼロカーボンシティ宣言の具体化に向けて、「二酸化炭素排出量可視化実証及び事業者向け支援策検討事業」を実施し、企業から排出される温室効果ガスの見える化を促進し、環境負荷低減をめざした取組のきっかけとすると同時に、事業者が必要とする支援策の検討を行いました。(市内協力事業者数：4 社)</p> <p>さらに公共施設などへの再生可能エネルギー設備の導入を検討するため、導入可能性調査を行いました。</p>		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【うちエコ診断会】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【二酸化炭素排出量可視化実証】</p> </div> </div>		


政策 5-1 基本構想の推進		
施策 5-1-1 みんなでつながる地域づくりの推進		
会計	款項目	事業費名称
一般	2 款 1 項 9 目	コミュニティ活動推進事業費
大事業に係る決算額		決算に関する資料
116,436,856 円		86 ページ
		担当課
		まちづくり推進課
<p>地域防犯活動について、自治会統合型交付金を拡充し、地域で実施する巡回防犯パトロールの物資購入などを支援しました。</p> <p>地域コミュニティにおける人と人とのつながりが、私たち一人ひとりの暮らしの安心につながります。従前から自治会加入を勧奨していますが、さらなる加入促進の取組について検討しました。令和 5 年度も、地域課題の解決を共に考える「地域づくりサポート制度」、また多様な主体の活動を支援する「コミュニティ活動補助金」の制度を継続しました。</p>		
<p>【令和 5 年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回防犯パトロール物資購入等支援 … 38 自治会 ・地域づくりサポート制度 … 2 自治会 ・コミュニティ活動補助金 … 6 団体 		


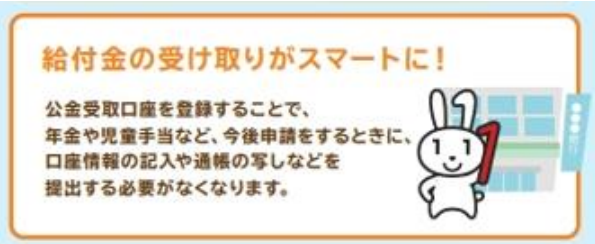
政策 5-1 基本構想の推進						
施策 5-1-2 積極的な情報発信・情報共有とシティプロモーションの推進						
会計	款項目	事業費名称				
一般	2 款 1 項 1 目	公聴事業費				
大事業に係る決算額		担当課				
1,096,473 円		経営戦略課				
決算に関する資料		58 ページ				
<p>「おくやみ窓口」において、死亡に伴い必要となる手続きを対象者ごとに抽出し、その手続きのための申請書類の作成補助及び受付をワンストップで行うことで、遺族が各担当課に移動し個々に申請書を書く負担を軽減しました。</p> <p>「おくやみ窓口」利用実績（令和 5 年度）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>死亡者数</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>610 人</td> <td>533 人</td> </tr> </tbody> </table>			死亡者数	利用者数	610 人	533 人
死亡者数	利用者数					
610 人	533 人					
						

政策 5-1 基本構想の推進		
施策 5-1-2 積極的な情報発信・情報共有とシティプロモーションの推進		
会計	款項目	事業費名称
一般	2 款 1 項 6 目	シティプロモーション推進事業費
大事業に係る決算額		担当課
8,542,867 円		経営戦略課
決算に関する資料		78 ページ
<p>J1 で活躍するアビスパ福岡のフレンドリータウンとして、古賀市応援隊の取組により市内外に対してシティプロモーションを推進しました。</p> <p>また、小倉百人一首競技かるた大会を開催し、市出身のトップ選手によるエキシビジョンマッチやリレーかるたで市内外の小中学生の体験機会を創出しました。</p> <p>市在住のアーティスト三上真輝氏により制作され、JR 古賀駅に長年飾られていたランタンを古賀西小学校の生徒、玄界高等学校美術部員とともにリメイク、また、移住体験の親子とともに古賀市の子どもたちがランタンの絵付けを体験し、シビックプライドの醸成につなげました。</p>		
		


政策 5-1 基本構想の推進		
施策 5-1-3 市民から信頼される持続可能な行財政運営		
会計	款項目	事業費名称
一般	2 款 1 項 1 目	公共交通施策推進事務費
大事業に係る決算額		決算に関する資料
6,050,430 円		54 ページ
		担当課
		経営戦略課
<p>地域公共交通の課題解決と地域の実情にあった公共交通を確立するため、地域公共交通会議（法定協議会）を設置し、地域公共交通網形成計画を見直し地域公共交通計画を策定しました。</p> <p>市内公共交通ネットワークの具体的な改善を図るため、地域協議会や説明会を開催し、地域公共交通に対する意見や要望を聴取しました。</p>		
		




政策 5-1 基本構想の推進		
施策 5-1-3 市民から信頼される持続可能な行財政運営		
会計	款項目	事業費名称
一般	2 款 1 項 1 目	行政庶務事務費
大事業に係る決算額		決算に関する資料
4,524,224 円		60 ページ
		担当課
		総務課
<p>名誉市民の中村哲氏の顕彰のあり方を市民と共に考えるシンポジウムをワールドカフェ形式で開催しました。</p> <p>グループ討議では、ペシャワール会の方も加わり、「中村哲氏の志を未来へつないていくには」などをテーマに、参加者が自由に語り合い、思いを共有しました。</p> <p>【開催日】令和6年2月10日 【場所】リーパスプラザこが 2階 多目的ホール 【参加者数】47人</p>		
		


政策 5-1 基本構想の推進			
施策 5-1-3 市民から信頼される持続可能な行財政運営			
会計	款項目	事業費名称	
一般	2 款 1 項 1 目	デジタル化推進事業費	
大事業に係る決算額		決算に関する資料	担当課
36,100,105 円		60 ページ	デジタル推進課
市公式 LINE や電子申請システムなどを活用し、市役所の様々な手続きのオンライン化を推進しました。職員がプログラミング不要で簡便にシステムを作成できるノーコードツールや RPA、AI-OCR などの活用を拡大し、行政事務の効率化を図りました。			
市公式 LINE による申請	4,426 件	ノーコードツール	全課 ID 付与
ふくおか電子申請サービス	2,864 件	RPA シナリオ作成	4 件
Web アンケートシステム	1,469 件	AI-OCR 利用部署	11 課
統合型地理情報システムの整備を行い、各課が管理している地理情報システムを統合しました。また令和 6 年 3 月 27 日に「こがまっぷ」を公開しました。			
			
デジタル人材を育成するため、職員研修を実施しました。			
OA 応用研修	37 人		
ノーコードツールハンズオン研修	15 人		
デジタル人材育成研修	12 人	※電子情報管理事務費にて支出	

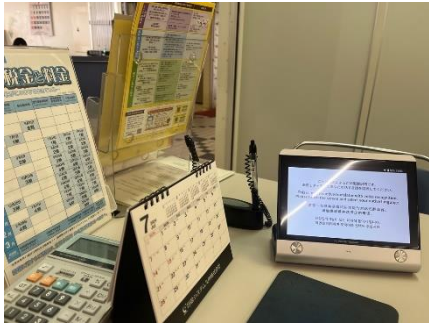
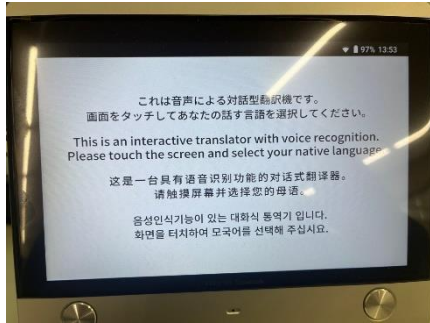

政策 5-1 基本構想の推進		
施策 5-1-3 市民から信頼される持続可能な行財政運営		
会計	款項目	事業費名称
一般	2 款 1 項 1 目	社会保障・税番号制度管理事務費
大事業に係る決算額		担当課
3,101,000 円		デジタル推進課
マイナンバーカードを用いて転出届、転入予約などの手続きがオンラインでできる引っ越しワンストップサービスを確実に進めるとともに、児童手当などの手続きもオンライン化しました。		
ぴったりサービス（引っ越し）	653 件	
ぴったりサービス（児童手当）	3 件	
		
行政機関間の速やかな情報連携のため、マイナンバーを利用した他自治体への情報照会などを安全かつ効率的に実施しました。		
マイナンバーを利用した情報照会件数	25,963 件	
		



73 政策 5-1 基本構想の推進 施策 5-1-3 市民から信頼される持続可能な行財政運営		
会計	款項目	事業費名称
一般	2 款 1 項 5 目	契約等管理事務費
大事業に係る決算額		決算に関する資料
2,861,383 円		74 ページ
		担当課
		管財課
<p>電子入札システムは、契約管理システム、入札参加資格申請受付システム、電子入札システムの3つのシステムで構成されています。</p> <p>契約管理システム及び入札参加資格申請受付システムについては、適正に運用し、入札参加者や職員の負担軽減を図りました。</p> <p>また、電子入札については、入札事務の電子化に不慣れな事業者がいることも想定され、参加するためには、ICカードやカードリーダー等の事業者負担が必要となるケースもあることから、混乱が生じることのないようシステム事業者と準備作業を進めました。</p>		
令和4年10月	契約管理システムの運用開始	
令和5年1・2月	インターネットによる入札参加資格申請受付 (令和5・6年度分：約2,000社)	
令和5年6月まで	入札参加資格申請データの点検及び修正 (6月以降も随時実施)	
令和6年1月	インターネットによる入札参加資格申請受付 (令和6年度追加分：約120社)	
令和6年3月	電子入札システム 発注者研修受講	


74 政策 5-1 基本構想の推進 施策 5-1-3 市民から信頼される持続可能な行財政運営		
会計	款項目	事業費名称
一般	2 款 1 項 6 目	総合政策推進事務費
大事業に係る決算額		決算に関する資料
23,115,393 円		74 ページ
		担当課
		経営戦略課
<p>第5次古賀市総合計画などを対象とした総合政策検証会議による外部検証を実施し、併せて庁内における行政マネジメントシステムによる効果的なPDCAサイクルの確立を推進しました。また行政だけでは困難な課題の解決と共創のまちづくりのさらなる推進のため、企業、大学などが独自の観点や強みを活かした解決策を提案する取組を公募し、市の委託事業として実証実験を実施しました。</p> <p>市公式LINEによる年齢や地域など利用者の特性に応じた情報発信や市民の利便性向上や窓口業務の負担軽減を図るため、行政手続きや施設予約などの機能拡充に取り組みました。</p> <p>市役所で市長の仕事体験できる「1日市長」や、基本構想を分かりやすく伝えるWEBブックの作成などにも取り組むことで、子どもたちの主権者意識の醸成に取り組みました。</p>		
		

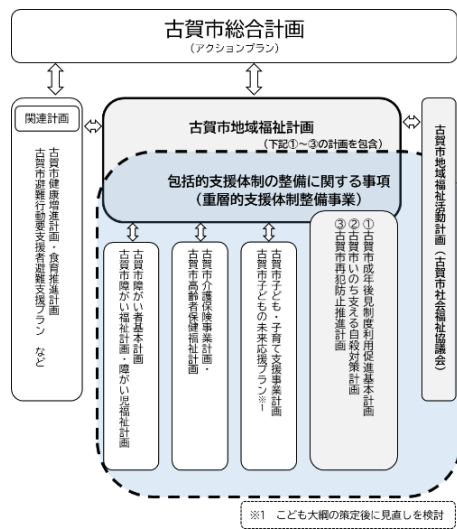
政策 5-1 基本構想の推進			
施策 5-1-3 市民から信頼される持続可能な行財政運営			
会計	款項目	事業費名称	
一般	2 款 1 項 6 目	移住定住促進事業費	
大事業に係る決算額		決算に関する資料	担当課
24,148,000 円		78 ページ	経営戦略課
<p>首都圏などからの移住定住、関係人口の創出をめざし、親子ワークショップを開催しました。</p> <p>テレワークに積極的な企業の従業員やフリーランスを対象に、新しい働き方の体験、親子で農業体験や料理教室、地域交流イベントに参加する機会を創出することで、古賀の魅力を深く知ってもらい、移住のきっかけをつくることができました。</p>			
日程		参加者	
9/4～9/6		3 世帯	
11/30～12/2		2 世帯	
2/21～2/23		5 世帯	
			
			


政策 5-1 基本構想の推進			
施策 5-1-3 市民から信頼される持続可能な行財政運営			
会計	款項目	事業費名称	
一般	2 款 1 項 8 目	電子情報管理事務費	
大事業に係る決算額		決算に関する資料	担当課
266,372,324 円		80 ページ	デジタル推進課
<p>令和 7 年度の自治体情報システム標準化・共通化移行のため、対象業務 20 業務のうち 13 業務及び共通項目（総合収納管理）について、現行の基幹システムと標準仕様との比較分析を実施しました。</p>			
住民記録	選挙人管理名簿	固定資産税	個人住民税
法人住民税	軽自動車税	就学	国民年金
後期高齢者医療	児童手当	児童扶養手当	子ども・子育て支援
印鑑登録			
<p>職員が利用するパソコンのうち約半数の 280 台を更新し、無線化したことにより会議や研修などにおけるペーパーレス化が進みました。</p>			
			

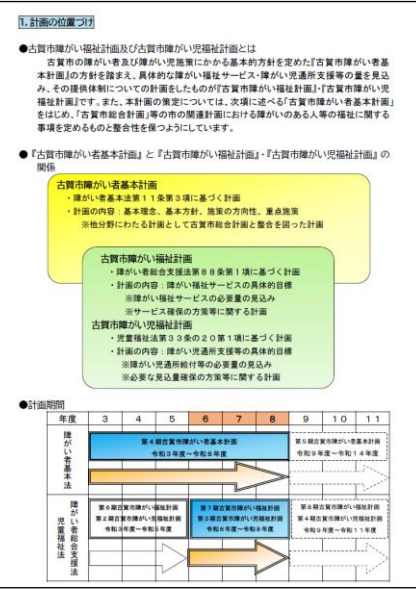
77 政策 5-1 基本構想の推進 施策 5-1-3 市民から信頼される持続可能な行財政運営		
会計	款項目	事業費名称
一般	2 款 2 項 2 目	収納管理事務費
大事業に係る決算額		決算に関する資料
20,603,369 円		94 ページ
		担当課
		収納管理課
<p>令和 5 年中に据置型翻訳機を購入し、来庁された外国人の方の納税相談時に使用しました。以前は納付説明に時間を要していましたが、翻訳機を使用することにより、コミュニケーションが円滑になり、相談時間の削減につながりました。</p>		
  		


78 政策 5-1 基本構想の推進 施策 5-1-3 市民から信頼される持続可能な行財政運営		
会計	款項目	事業費名称
一般	2 款 3 項 1 目 2 款 5 項 2 目	住民情報管理事務費
大事業に係る決算額		決算に関する資料
41,112,499 円 7,000 円		96 ページ 104 ページ
		担当課
		市民国保課
<p>市民国保課市民係にセミセルフレジを導入しました。窓口での手数料受領・釣銭の支払いが自動化され、確実な現金収納が実現できました。</p> <p>庁舎内に証明書自動交付機を設置しました。古賀市に住居登録があるマイナンバーカード所持者を自動交付機へ誘導し、職員が使用方法の説明を行ったうえで、申請者本人が操作し交付を受けていただきました。同時期に 10 円キャンペーンを実施し、コンビニ交付サービスへの円滑な誘導ができ、証明書交付の窓口来庁者が減少しました。</p> <p>職員の窓口業務負担軽減とともに市民の利便性が向上しました。</p>		
<p>【証明書自動交付機交付実績（市民係）】</p> <p>令和 6 年 1 月 398 件、2 月 704 件、3 月 931 件</p> <p>※住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍証明書、戸籍の附票の写し</p>		
 		

79	政策 5-1 基本構想の推進	
	施策 5-1-3 市民から信頼される持続可能な行財政運営	
会計	款項目	事業費名称
一般	3 款 1 項 1 目	地域保健・福祉施策推進事務費
大事業に係る決算額		決算に関する資料
41,897,684 円		110 ページ
		担当課
		福祉課
<p>「すべての人が地域で支え合い健やかに暮らせるまち」を基本理念に、「第3期古賀市地域福祉計画」を策定しました。</p> <p>本計画は改正社会福祉法で創設された重層的支援体制整備事業を包含し、また社会福祉協議会の行動計画である「第6次古賀市地域福祉活動計画」と一体的に策定しています。</p> <p>この理念のもと、市民、社会福祉協議会、古賀市が一体となって地域共生社会の実現をめざします。</p>		
		



80	政策 5-1 基本構想の推進	
	施策 5-1-3 市民から信頼される持続可能な行財政運営	
会計	款項目	事業費名称
一般	3 款 1 項 5 目	障がい者施策推進事務費
大事業に係る決算額		決算に関する資料
1,279,930 円		122 ページ
		担当課
		福祉課
<p>障がいのある人もない人も共に生きていけるインクルーシブな地域社会をめざし、安全・安心な地域生活の実現のため、第7期古賀市障がい福祉計画・第3期古賀市障がい児福祉計画を策定しました。</p> <p>障がいのある人が自分らしく安心して地域で生活できるよう、切れ目のない支援体制や環境を築いていきます。</p>		
		



政策 5-1 基本構想の推進		
施策 5-1-3 市民から信頼される持続可能な行財政運営		
会計	款項目	事業費名称
一般	3 款 2 項 1 目	子育て支援施策推進事務費
大事業に係る決算額		決算に関する資料
309,964 円		138 ページ
		担当課
		子育て支援課
<p>子ども・子育て会議を開催し、子ども・子育て支援事業計画の進捗管理を行いました。</p> <p>こども基本法に基づき、国のこども大綱及び県のこども計画を勘案して定めるよう努めるものとされている市こども計画の策定作業に着手し、ニーズ調査を実施するためのアンケート作成などを実施しました。</p>		
		

政策 5-1 基本構想の推進		
施策 5-1-3 市民から信頼される持続可能な行財政運営		
会計	款項目	事業費名称
一般	4 款 1 項 2 目	環境施策推進事務費
大事業に係る決算額		決算に関する資料
18,692,265 円		166 ページ
		担当課
		環境課
<p>今後 10 年間にめざすべき本市の環境像及びこれに向けた施策や取組の基本的な方向を示す「第 3 次環境基本計画」の策定とともに、「第 2 次地球温暖化対策実行計画」及び「第 3 次ごみ処理基本計画」の策定を併せて行いました。</p> <p>3 計画の策定にあたっては、環境審議会に諮問し、令和 5 年度においては、全体会を 4 回、ごみ処理専門部会を 3 回開催し、さまざまな評価・検証などを経て得られた答申を基に策定に至りました。</p> <p>めざす環境像として「うみ・まち・さと・やまが調和しながら共に育つ 環のまち こが」を掲げ、「ゼロカーボンシティの実現」、「ワンヘルスの推進」を共通テーマとして設定し、推進していくこととしました。</p>		
		

政策 5-1 基本構想の推進		
施策 5-1-3 市民から信頼される持続可能な行財政運営		
会計	款項目	事業費名称
一般	4 款 1 項 3 目	地域保健・福祉施策推進事務費
大事業に係る決算額		決算に関する資料
1,687,858 円		170 ページ
		担当課
		健康介護課
<p>令和6年度からの6年間の計画となる「ヘルスアップぷらん（健康増進計画（第三次）・食育推進計画（第二次）」を策定しました。</p> <p>今回の計画では、新たな視点として「朝（午前中）を意識した生活の推進」と「計る（測る）を取り入れた生活の推進」を加え、「子ども」「女性」「高齢者」について、重点的に取り組みます。</p>		
		

政策 5-1 基本構想の推進		
施策 5-1-3 市民から信頼される持続可能な行財政運営		
会計	款項目	事業費名称
一般	10 款 3 項 1 目	スポーツ施策推進事務費
大事業に係る決算額		決算に関する資料
12,465,420 円		278 ページ
		担当課
		生涯学習推進課
<p>スポーツ協会との連携のもと、10月のスポーツ月間を中心に様々なスポーツイベントを実施しました。市民健康スポーツの日は会場を市民グラウンドから古賀中学校に変更することで多競技の体験会ができ、多くの方に参加いただきました（参加人数 885 人）。</p> <p>また、フレンドリータウン協定を結んでいる女子バレーボールチーム福岡ガラソールと様々な交流事業などを行いました。</p>		
福岡ガラソールとの交流事業等		
実施日	取組内容	
6/18	古賀市分館・地域親善バレーボール大会	
9/18	古賀竟成館高等学校・玄界高等学校女子バレーボールチームとの交流会	
10/15	市民健康スポーツの日交流事業	
2/17, 2/18	全国6人制バレーボールリーグ総合男女優勝大会（クロスパルこがで開催）	

85	政策 5-1 基本構想の推進	
	施策 5-1-3 市民から信頼される持続可能な行財政運営	
会計	款項目	事業費名称
介保	1 款 4 項 1 目	高齢者施策推進事務費
大事業に係る決算額		決算に関する資料
1,953,200 円		14 ページ
		担当課
		健康介護課

介護保険制度を持続可能なものとし、安定した介護保険事業の運営のため、標準所得段階の多段階化や介護保険料率の設定、地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取組について検討を行い、第9期介護保険事業計画・第10次高齢者保健福祉計画を策定しました。

